京城日報

一月十三日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇會議提案內容

佛國々際協會長レオン、ブルジョア氏は一記者に語りて曰く余及び英米伊各國際協會長は目下講和會議に提出す可き提案を起草中なり右內容は聯合國は先づ仲裁及び軍備制限等の條項を含む國際聯盟を組織す可き事次に獨逸に對し講和條件を通告する事而して平和克復後聯盟希望國は萬國大會を召集し聯盟希望國は聯合國間に協定せられたる法規を承認せしむる事等にて各國は各自保障を爲す事を要す（巴里電報）

◇聯盟問題提議通告

佛國首相クレマンソー氏は十一日佛國々際聯盟協會々頭に對し國際聯盟問題を聯合國會議開會劈頭提議す可き意嚮なる旨通告せりクレマンソー氏は既に認められ居る此提議問題の豫備的研究を爲さんが爲め一箇の委員會を組織せん事を求むべくブルジョア氏は佛國を代表し此委員會に加はる可しと（巴里電報）

◇豫備會議の延期

講和豫備會議は十六日に延期されたるが牧野男は十三日リバープール（英國西岸マンチエスターの外港）に到著の筈なれば十六日の會議には間に合ふ可く之に出席す可し尙伊集院駐伊大使も近く巴里に到著の豫定なりと（東京特電）

◇ス團首領負傷

スパルタカス團首領リープクネヒトは六日手擲爆彈にて負傷せりと（倫敦電報）

◇獨逸現政府優勢

獨逸よりの情報に據れば現政府は義勇軍伯林衛戍軍其他八萬の政府に忠誠なる軍隊の後援を得アイヒホルンの守兵も變節して政府に投じたればスパルタカス團の根據は當さに重圍に陷り其運動は既に不振の兆歷然たり政府は再び權力を確立し得可し（倫敦電報）

◇英內閣改造豫想

英國首相は新に完成せる內閣に入る可き人物に就き夫々交涉したるが近く公表さる可く閣員顏觸には餘り變更無きも役割の變更は多かる可し豫想に依ればボナーロー氏は無任所大臣となり議會にて政府黨を統御す可くチャーチル氏は陸軍省にミルナー氏は拓殖省にウオルター、ロング氏は海軍大臣にエリック、ゲデス氏は除隊復員の衝に當りショート氏は內相にクライチス氏は養老事務大臣に任ぜらる可く從來無任所大臣たりしシー、エス、バーンス氏は愛蘭事務大臣に任ぜらる可し（倫敦電報）

◇英輜重兵の示威

倫敦にては八日又も輜重兵の示威運動行はれたるがロバートソン將軍は何人も四十一歲以上の者は海外に派遣せずと約せり復員問題に就ては引續き議論沸騰せるが當局は迅速に手段を講じ多くの難問題を解決したりとの世評なり（倫敦電報）

◇聯合軍對土通告

聯合軍は土耳古に對し若し土軍が武裝解除に關する休戰條件を履行せざればダーダネルスの要塞を破壞す可しと通告せり（倫敦電報）

◇セ將軍西征疑問

哈爾賓來電＝セミヨノフ將軍はウラル戰線に赴くべしとの說傳へられつゝあるもセミヨノフ將軍は後貝加爾にて活動したるが故に今日の地位を得たるものなればウラル戰線の如き自己勢力範圍外に赴かんか忽ち其地位に影響を及ぼすに至るべく右は全然虛報ならんと思はる（東京特電）

◇米船積人夫罷業

紐育來電＝船積人夫約二萬は紐育其他の諸港に於て同盟罷業を行ひ航運業は事實上休止の姿なり（東京特電）

◇米銀行對支畫策

巨額の借款を交涉せん

モルガン會社は次の發表を爲せり即ち米國銀行家三十名は國務省の贊助を得て支那財政現狀研究の爲め市俄古大陸商業トラスト貯蓄銀行副總裁ジョン、アボット氏を支那に派遣す可し目下特別借款を計畫し居らざるも近く比較的巨額の借款を交涉す可しと傳ぜらる（紐育電報）

◇南北調停依賴

米大統領へ＝廣東國會より＝

廣東國會參衆の兩院は米國大統領ウイルソン氏に南北調停の勞を執らむことを依賴する旨打電せり（上海電報）

◇廣東政府代表者

廣東軍政府會議は和平會議代表者を左記の如く正式に決定し十日北京政府に通告せり（廣東特電）

◇本野子御暇乞

佛國に向け出發すべき本野盛一子は十二日正午參內御暇乞を言上し退出せり（東京特電）

◇特使隨員出發

特使隨員の三浦謹之助博士は十二日夜七時半東京驛發神戶に向ひたるが西園寺八郎氏夫人は十三日午前八時半本野盛一子夫妻と同列車にて孰れも東京驛發神戶に向ひたり（東京特電）

烏拉爾より（二）

從軍記者 金谷眞

◇ウラル山脈の西麓は大約日本の本州位、鐵道は南北に並行した縱の線二つと東西に山中を橫斷した橫の線三つ、他に山中の精礦所へ通ずる輕便鐵道は所在にある

◇假りにエカテリンブルグを中央としても南のチエリヤビンスク迄は我五十八里（大約京城元山間）最近ガイダ將軍が大勝を占めた北のクシワまでも殆んど同里程、まだその北にウエルホツーリエといふ街もある

◇またエ市からヴオルガ上流のペルム市までは我八九十里ペルムは河流の汽船によつてウラル山中に物資を供給する點、南の歐露ウファ市とよく似てゐる。チエリヤビンスクとウファ間は我百十二里大約京城釜山間位の距離である

◇ウラル山中の風光は赤松が多いので圍い山々が日本に酷く似て居る、それに薪を削つて長方形に積んだところも似て居るし日本內地の秋によく見る藁の『こしやく』に似たものには牧草の積んだものがある、お剩けにホルビといふ鳥のお友達に朝鮮と同じカチガラスが飛んでゐるのは面白い、露人はウラルの風光を露西亞第一と讃へて居るとか

◇ウラルの山中殊にエカテリンブルグ北方の戰線では步兵がスキーに乘つて戰爭する、スキーは曾て長岡將軍が高田で奬勵したものであるが將軍に言はせると『俺の先見の明を見よ……』であらう

◇ウラル山中は森林戰も行はれる頃日ペルム方面に向つたガイダ將軍麾下の一隊は零下十五六度の山中で積雪膝を沒する邊に戰つてゐるといふが冬は更利なと河水が凍つて步兵は其の上を自由に步けるから道に迷ふ憂ひがない

◇ガイダ少將と云へば日本人には頗る人氣の惡い男だが彼は決して日本に惡い男ではない、ガイダが後貝加爾のオルワンナヤで日本軍並びにセミヨノフ軍と衝突したのは全て双方の誤解であつた

◇ガイダは今夏チエツクの蹶起した當時トムスクよりイルクツクに攻め込み『西伯利の救濟主』と呼ばれた男である、それが勝ち誇つて浦鹽に向ふ途中ばつたりとセミヨノフ軍に打衝かり互に『お前の方から退け』でにらみあつたものであつた、當時ガイダはセミヨノフが味方なることも浦鹽に日本軍が上陸したことも知らなかつたといふ

◇ガイダは頃日エカテリンブルグ北方の敵軍を掃蕩してゐる、而して巧妙なる戰術によつて大敵を壓破するあたり却々年齡廿八歲の青年將軍とは思はれぬ程である、少將ガイダは實に常勝軍の將である（一月十一日チエリヤビンスクにて）

教育政策問題

在東京 吐蜂生

◇原內閣は今や得意の絕頂に在り、所謂吹きも殘らず散りも始めぬ滿葉の櫻樹下に在りて、醇に陶醉しつゝある境涯に候。世には船成金あり、鐵成金あり、株成金あり、絹綿成金あり。然れども若し政治成金なるものありとせんか、現內閣は謂ふ迄も無く當代隨一の果報者に候

◇然れども古人も三日見ぬ間の櫻哉と申せし如く、夜半に嵐の吹かぬものには無之候。天氣豫報は政府の三大難關を報じつゝあり、第一は講和問題也、第二は物價調節問題たり、而して第三は敎育の問題に候。何れも來るべき議會の重要諸問題たらずんばあらず

◇第一、第二は暫く措き、本日は第三に關して少しく所見を披陳せん、蓋し記者は現政府に對して一片の惡意無し、所謂往々政府の辯護に墮する、亦寔に已むを得ざる也

◇御下賜金一千萬圓を基本とせる高等敎育機關の設備計畫は、近來の最大慶事たるに相違無し、而も政府が之を鼻にかけて識者の言論を壓迫せんとするは、斷じて賢明なる料簡と稱し難く候。敎育機關の完備は、政友會が在野以來の一枚看板と稱するも妨げず、然も此一枚看板の政策が、八年度の一般豫算決定に際して確定計上する能はず、皇室の御下賜金を待つて初めて追加豫算を計上したるが如き、記者が如何に辯護せんと欲するも、本末顚倒の謗を回避し能はざる所に候

◇然も政府反對者がこれを捉へて政爭の題目とし以て政府の窮境に陷れしめんと欲するが如きは、政府の極力排擊する所に候。況んや政府を以て 陛下の御下賜金を以て自家の政策を遂行せんとする不屆き漢なりと云ふに至つては妄斷も甚だし。政府の政策と、皇室が敎育を尊重し給へる特殊の御下賜金とは全然別個の問題也、吾人は如何なる形式を以てするも御下賜金の措置顚末に關する一切の言議を慎まざるべからず。たゞ政府も國民も等しく 聖旨を奉體して敎育の振興に最善の力を盡すべきのみ。故に吾人は政府の計畫と其の徹底とを諒とし、一日も速く高等敎育機關の完成を望んで已む能はず候。たゞ此の間政府の措置と前後の態度に關し、敎育會議及貴族院方面の誤解無しと云ふべからず、聽くならく原首相、中橋文相の夙に自ら看取するに苦しまざる所なり、記者は兩相の說明及び答辯が議會の誤解を解き、國民を滿足せしむるものならん事を信じて疑はざるものに候

◇若し吾人をして一片の杞憂を述べしめんか、高等諸學校增設計畫が政友會の黨勢擴張問題に利用せられ、醜惡なる地方的紛爭を惹起する無きか。往年政友會の地方に遊說するや、鐵道、港灣、治水の三者を好餌とせり、我田引鐵の珍名題を殘せる所以也、原內閣の學校政策亦、我田引校の譏を招かずんば幸ひ也、私に中央政府並に地方の黨人諸君を戒むる所以也（一月七日）

◎總督東上期

朝鮮土產携帶

長谷川總督は李王世子殿下御慶事參列の爲め藤波通譯官等を隨へ愈十四日午前八時四十分南大門驛發列車にて東上の事となれり尙總督は兩陛下並に皇太子殿下其他へ獻上の爲め恒例に依り朝鮮產の革果及び蔬菜等を御土產品として携帶の筈なり

◎總督兩宮訪問

長谷川總督は十四日朝出發東上に就き十三日午後二時昌德宮に李王殿下を又德壽宮に李太王殿下を訪問御暇乞の挨拶を爲したり尙總督は途中鄉國山口縣岩國にて三泊の筈なりと

◎政務總監登廳

微恙の爲引籠り中なりし山縣政務總監は十三日より登廳執務せり

◎公立學校長會議

十五日より三日間

既報の如く官公立學校長會議は十五日より向ふ三日間總督府第二會議室に於て毎日午前十時より午後四時迄開催のことゝなれるが其日程左の如し

▲十五日總督訓示、諮問事項、▲十六日諮問事項▲十七日長官指示打合事項

尙會議は內務部長官統裁の筈なりしも東上不在に就き關屋學務局長代理すべし

◎宇佐美長官東上

宇佐美內務部長官は諸般の事務打合せの爲十二日午後七時五十分南大門驛發列車にて東上せり

▲釜山通過 宇佐美內務部長官十三日朝五時四十分著列車にて著釜少憩の上午前六時四十分解纜の壹岐丸にて出發したり（釜山電話）

◎通信手當問題

遞信局の通信現業員手當支給は當時に於て尙ほ研究を續け居れるが初めその範圍を海事課、保險課員にも及ぼすべしとの說出でし模樣なるも審議の結果內地の例により通信事務方面には及ばざる事となり又使用勤務のものゝみに限定せり又その額は年額約七萬餘圓月額六千數百圓にて之れを一人當りより見れば必ずしも多からざる如し

◎仁川倉庫會社

許可申請提出

築港の完成に伴ひ當然仁川に完全なる倉庫の必要なるは言を俟たざる處にして既に開港當時より之が建設に就て識者の計畫あり愈々舊臘に於て議熟し仁川吉田秀次郎、後松太郎、河野竹之助の諸氏發起人となりて創立の事に著手するが幾何もなくして忽ち一切の準備なり愈々十三日其筋へ對し設立許可の申請書を提出せり該會社の

▲設立內容を聞くに資本金五十萬圓を以てし一株五十圓として一萬株を募集し完全なる棟の倉庫を建設して一般倉庫並に金融業を營むの外火災保險の代理業等も兼營するが以て目的とせり而して今日迄事業の計畫を初めて僅に旬日ならざるに既に豫定の株數を超過し一千餘株の過剩を生ずるの好成績を擧げ全部仁川の

▲關係有志に依りて必要の額を引受くる事に決定採印せられたり斯の如きは恐らく內地に於ても未だ曾てあらざる好成績にして以て如何に仁川人士が本事業に對し市民自らの權利と爲して義務とを痛感せるかを見るに足るべし而も本事業たる將來に於て仁川の有利なる事業の一たるべき創設早々に於ては僅かに年

▲八朱の配當を見積れるに過ぎざるを以て特に有利なりと云ふを得ざるも只市民の當然確保すべき利權と爲すべき港務觀念より發起人の熱誠なる事業計畫に信賴して悉く快諾せるものなりと同會社は設立許可の指令に接するの日を待つて直ちに營業開始の準備に著手すべく既に一般の準備に就いては著々進捗を見つゝありと斯の如くして

▲從來動もすれば不便とせられつゝある貨物の保管其他に至便を與ふるに至らば從つて仁川貿易上に甚大の好況を齎すべきは言を俟たざる處なるべし

◎運送業總會

京城南大門驛前と龍山驛前とに於いて鐵道運送取扱業を營める內鮮人同業者二十八店にて組織せる同組合は十二日午後二時より南山町松葉亭に於て總會を開き前年の事業報告決算報告を爲し役員に矢野菊松（組長）松原榮（副組長）近藤修、石幹、野田源五郎、河村千次郎、大和與次郎、朴文執、金致允（以上評議員）を選舉し終りて新年宴會を催したりと

◎小原長官歸城

小原農商工部長官は容體靜養中の處十三日午前九時二十五分南大門驛著歸城せり

◎頭本元貞氏

入城中の代議士頭本元貞氏は十三日午前總督府に長谷川總督及山縣政務總監を訪問入城の挨拶を爲したり

人事

▲田中玄黃氏（平壤高等普通學校長）十三日朝入城

▲奥村武三郎氏（平南阿部農場支配人）上

▲奧田鎗造氏（代議士）十三日朝入城

▲篠田平南第一部長 十二日朝南大門驛著入城

▲藤澤太郎氏（專賣課尙州出張所長）專賣調査の爲十一日附慶北管內へ出張を命ぜらる

▲鈴木哲郎氏（鑛務課技師）鑛業調査の爲十一日附を以て慶北咸南管內へ出張を命ぜらる

▲林樹氏（司計課事務官）豫算事務打合の爲十一日附東京へ出張を命ぜらる

▲吏川信儀氏（中央試驗所技師）製絲に關する調査の爲十一日附東京大阪靜岡の三市へ出張を命ぜらる

▲高山徹氏（平壤公立農業學校教諭）學事視察の爲十一日附にて東京大阪廣島愛知群馬新潟長野の各府縣へ出張を命ぜらる

▲福島百藏氏（大邱公立農業學校教諭）學事視察の爲十一日附にて東京京都福島熊本長崎福岡滋賀の各府縣へ出張を命ぜらる

▲工藤壯平氏（總督府總務課長）亡夫人遺骨埋葬の爲郷里岡山へ歸郷中の同氏は二十日頃歸城の豫定

釜山より啓上

鯨洋生

一月十日朝來曇天、風稍強く、時に微雨あるも寒氣は前日の如からず、午前八時四十分南大門驛發車行の閑人悠々爭ひ輸する者多く、溝には既に氷あり、氷上に遊ぶに似たり。此の雨ならば來るべき我社のスケート大會も大々的ならんと、今より竊かに期待するこそ甚し……

■暫時車外

■何時の間

八面鋒

◇露都にてはレニンとトロツキーの間に確執が起り、レニンは逮捕され、トロツキー獨裁官と爲りクレムリン宮殿內に頑張つて、前露帝にも勝る豪奢を極めつゝありといふ。

◇又一方獨逸にては、エベルト政府顚覆し、シャイデマンやランツベルグも辭職せりとの說あり。歷史は繰返す、宛然たる佛國大革命亂中の光景。

◇我講和特使西園寺侯本日を以て神戶を出發す。波濤萬里、殊に赤道直下の航海、願くば老體に恙なく一路平安、目ざす佛國に安著せられんことを切望して措かず。

◇伊集院駐伊大使講和委員に仰附けられ、是にて本邦委員五名の顏揃ひこ爲れり。園侯の聰明、牧野子の慎慮、珍田男の圓熟、松井氏の敏活、之れに加ふるに伊集院氏の果斷を以てす、庶幾くは君命を辱かしめざるに足らんか。

◇露國の亂脈は厄介物に相違なきも、票醉ひ醒むるまで當分之を捨置きて差支なきも、狡猾なる講和の對手たる獨逸が今の狀態にては全く以て手の著け樣もなし。テコズラせることはかういふことをいふなるべし。

◇露都にヤコブレワといふ女執政官あり、妙齡二十二、容貌亦花の如し、而も其殘忍冷酷なるレニン、トロツキー輩の上に出で、露都の人口は爲に八十萬に減じたりと。如夜叉とは廣にかういふものをいふならん。

◇然れども人の膏血を嗜むの如夜叉は、必ずしも此の女魔のみに限らず、そんじよそこらに遙々たるを看よ、而も大抵は蟲も殺さぬ顏の如菩薩なり、さても身の毛のよだつ恐ろしさよ。

■維納會議に於けるタレーランの乘ぜしは、英、露、墺、普の四大聯合國が漫然征服の權利と、均勢の主義とに基きて、此事を解決せんとせしに由り。巴里會議に於けるナポレオン三世の唱へし民族主義、即ちプリンシプル、オブ、ナショナリチー、今日の所謂民族自決主義の淵源說が、露墺の帝國的侵略を牽制し、獨伊の合諸國に調和せられたる點に於て、今回のヴェルサイユ會議は維納會議に倣ひ、形勢は歐洲に於てなしたる處を巴爾幹半島に向つて行ひたるものにて

■其新組織には幾多の姑息と不徹底なりしが露國の逐に半島に於ける露墺の衝突を促し、獨逸東進策と相俟つて今回の大戰を勝起する遠因となれり。……聯合國は今や伯林會議の……徹底せる新組織を世界的に設定せんとして、巴里郊外ヴエルサイユに

■大會議を開かんとす……

朝鮮學術研究會編　發行所 京城本町二丁目 ウツボヤ書店

中學 商業 高等女學校 高等普通學校 入學試驗問題答案集

大正七年度 四六版二百餘頁 ▲定價金五十錢 送料四錢

入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ

發賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次販賣所 大阪屋▲岩松堂

＝年甫の期米＝

一陽來復して人心自から新たなるの時米界の天地に一團の瑞雲漂へり、何ぞや政府の徹底的調節策樹立即ち之れ、新甫の強調は舊臘頑派が買煽りの惰力而已大勢は既に低落の兆歷然として急轉直下の機蓋し目睫に逼れり矣、今第十二回加盟額の分と併せ第十三回を組織す、年甫の瑞福を奐ふの士夫れ速に來れ

■申込期間一月廿三日迄 ■加入金一口參拾圓

日本信託證券部（債券代用不苦）

第十三回 期米賣同氣會

大阪市北區堂島濱通一丁目一二 電話長北九七二番 振大四五五〇

▲會則說明書贈呈▼

財團法人 電機學校

■本科講義錄 校外生、本科講習生用 橫書大革新

■豫科講義錄 豫科講習生用 完備好評

校外生募集

●規則書無料送附 ●懸賞規定を設く

東京神田區錦町 電話本局七九六八

專賣特許

八千代精米機

◎精石數特號三十石以上

◎本機の特長

一、搗減僅少にして精白清麗佳良なる事

一、精白は無砂混砂自由なる事

一、酒造精米に最も適當

御申越次第『カタログ』說明書贈呈す

株式會社 今橋商會

大阪市西區江戶堀北通三丁目 電話土佐堀一八二番 振替大阪一四四〇九番

敷島精米機

◎精石數壹號十四石以上

皮より強い 柳製專賣トランク

鞄製造販賣

御注文により如何樣にも調製可仕候

魔法瓶及中瓶取替

京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話二四五番

大正七年七月一日改正現行

講和特信 十二月十九日發＝一　日本電報通信社特派員 上田碩三

講和使最初の聲明
牧野特使一行ホノルルに上陸
米記者は皮肉な文句を列べた

船は豫定より遲るゝこと三時間にして十二月十九日午後三時ホノルル棧橋に入繋、牧野男以下一行はホノルルの一夜を過ごすべく直ちに上陸す、是より先き諸井總領事青木正金支店長等は碇泊中の澤間艦長古川大佐と共に水雷艇に乘じ港外に一行を迎へ布哇知事代理プラックメン大佐、布哇軍管司令官代理等亦各ボートに乘じて出迎へ牧野男と握手を交換して無事着港を祝する、一行上陸に當り布哇駐屯米軍は特に牧野男に敬意を表する爲め軍隊の堵列及び護衛する豫定の處挨くも牧野男は船中より堅く之を謝し之れを辭退して頗る物靜に上陸する、此の上陸に當つて牧野男は當地の內外新聞記者に對し豫め準備されたる英文の談話を發表する其の要は當時既に電報を以て報道した通りであるが更に

◇無線電信 を以て其の豫定の…

に之だけでは承知せぬ新聞記者の爲めに一行の新聞記者係りの松岡書記官は牧野男の履歴やら航海の模樣やら一行の會見談までも然るべく書いてやると外字新聞の連中も勞が省けて有難いと云つた樣な顏をして引退がる、そんな工合で煩悶と思はれた新聞記者の來訪も頗る

◇お手輕 にサッサと運んで行く、其日の夕刊を見ると發表された通りソックリ其儘仰々しく書き立て、居る、共標題を見ると牧野男の言明に對しては『講和使は語る――日本は聯合國と協調すべく素直に出て其他の記事に對しては前のより大きな活字を使つて『日本講和使來る、されど其要求條件に就ては默す』曰く待ち、警覺し、而して後知るの政策』と云つた樣な長い、そして皮肉な文句を列べて居る是れは蓋し發表文中日本の條件などなか〳〵判らぬ

◇時期を待 つた上で(ウエート、アンド、シー)』の方針によるとあるのを捕へたもので流石に米人記者の傲慢を稱すべしだ所謂ウエート、アンド、シーと云へば『マー行つて見た上で』と云つた調子の頗る呑氣千萬な、所謂牛に牽かれて善光寺詣りの類で無爲、無方針を暴露して居る、但し彼の

◇戸山學校終業式
侍從武官を差遣さる
陸軍戸山學校にては本月下旬學生終業式擧行に就き畏き邊にては當日侍從武官を差遣され優等生に對し恩賜の賞品を傳達せしめらる・中(東京特電)

新聞標題から見れば米人記者の解釋は日本は如何にも虎視眈々、時期到來を待つて一大事を仕遂けんとするの意味に取つて居る樣じや、果して然りとせば外交官としては大

◇禁物の句 と云ふべし

さて牧野男一行は午後の三時間を見物に充て、午後七時からヤング・ホテルに於ける日本人有志の歡迎晩餐會に出席、會は型の如くデザートコースに入つて諸井總領事及び青木正金支店長の挨拶あり之に對し牧野男は今回の使命の重大なるに對し努力奮鬪以て國民の期待に添はんと述べ九時散會、來會者は在留邦人中一流の紳士約五十名、盛會を極めた、此夜當地邦字新聞社の主催の下に市內日本劇場に於て

◇演說會が 催された、演者は黑岩、大谷及び中野の三氏で是亦頗る盛大を極めた、但し黑岩、大谷兩氏は共に北の一新聞記者にして決して一行中のものでない事を幾度となく繰返して言譯つたホノルルに入つて始めて米國の外電報を受け付けぬとで安着の電報を故國に打たうとした人も澤山あつたが恐く駄目で其の代り有難い事には官報一片の世間並はドン〳〵受付けて呉れる、第二は絕對の禁酒で晩餐會の飲み物も恐く水ばかり、十二月十九日ホノルル發」ホノルルにて

□葉山行幸啓
歌御會及び朝見の御儀

…終へさせられて天皇陛下には來る十八日宮中歌御會始めに出御在らせられ又二十五日は李王世子垠殿下と梨本宮方子女王殿下との御結婚式行はせらるゝに就き朝見の御儀あり二十八日頃皇后陛下御同列にて葉山御用邸に行幸遊ばさる・中拜承す(東京特電)

◎零下卅度の上空に
耐寒飛行二時間の記錄を……
◇西伯利出征航空隊四中尉凱旋

西伯利出征中なりし我航空隊の瀬戸、佐藤、行田、加藤の四飛行中尉は今回佛國より來朝すべき飛行隊の接待及び新進技術學習の命を受けて急遽十二日夜南大門驛通過南行凱旋せり四中尉は金村驛迄出迎へたる記者に對し交々語つて曰く『僕達出征航空隊は十數機の飛行機と共に昨年の秋からチタ方面で活動して居たがチタは昨今

▽零下四十度 と云ふ恐ろしい寒氣で何も彼も凍つて了つて役に立たない我航空隊は此極寒にも拘らず殆ど毎日の如くチタの上空を飛翔して市民は無論外人間にアッと云はせたが飛行用の眼鏡が上空で凍つて了つて一寸先が見えなくなつた上顏にピッタリ括附いた油がスッカリ凍つて了つたりして飛翔上非常に困難があつたと同時に少からぬ研究資料を得たので歸隊後は十分研究を重ねて我航空隊の爲め貢獻がしたい耐寒飛行で華々しかつたのは零下卅度の上空千五百米突を二時間も飛翔した事で恐らく日本では記錄破りだと思ふチタには獨逸や露國の飛行機が大分あつたが

▽零下の上空 は嘗て飛翔した事がなかつたので我航空隊の飛行にはアッと云つたのも決して無理ではあるまい』

▽注意深い人 故伊庭中尉の事

それから談は伊庭中尉の死去に移ると瀬戸中尉は徐に姿勢を直して『伊庭中尉が佛國で死んだつて、それは嘘だろういや僕は嘘じやあつてほしいが然し事實死んだとすれば實に惜しい事をしたものだ伊庭中尉とは第三期生の同窓であつたが氏は品行方正何學科も滿點許りの秀才だつた而して氏は研究心の強い上に萬事注意深い人で

◇食糧品組合店員表彰式 設頭は辻組合長が表彰狀を授與してゐるところ

◎大阪電燈燒失す
損害二十萬圓

十二日午前一時三十分大阪市西區北堀江治川四丁目大阪電燈會社工作場中なり(大阪特電)

▽飛行將校に なつて居る事が判つた…來たした誤らもなかつたが名古屋に大演習のあつた時の事だ氏は而川大尉と同乘して名古屋市の上空を飛翔して居ると俄かにガスリンの故障を起してアハヤ市街へ墜落しようとしたが氏は突差の場合隣邸の空地を得て辛うじて或る家の屋根上に下降するを得て無事なるを得た人だ』

◎近親結婚は有害か
必ずしも左樣ではない
宗教的關係から禁止されてゐるのだ
五島博士車中談

生物學と優生學に關する講演の爲め滿鮮に講演旅行の囑託を受けたる東京帝大教授五島理學博士は十二日夜入城せるが氏は途中迄出迎へたる記者に語つて曰く此度の

▽滿鮮旅行 は私に取つては始めての事ではあるし見る物聞くもの總て非常に珍らしいと思つて居ます滿洲の方では哈爾賓迄行つて來ましたが寒かりは非常に寒いからと樣々注意をして呉れられたで自分で想像して居たよりは然うも寒くは感じなかつたのです朝鮮では京城と三日間釜山で都合八日間の講演をする事に約束がしてあるのですが其の內に折があつたならば是非一度と開城へ遊びに行き度いと思つて居ます何あに初めの事ではあるし京城に居るのは一兩日後れてもかまいません此度の旅行は既に御承知の通り

▽生物學と 優生學の講演をする爲めであります優生學は獨逸の學者ゴールドン氏に依つて主唱され初め人種改良學と言つて居たものでありまして人知の進步に伴なつて當然起るべき必然の趨勢なのでありまする農作物の如きに於ては品種改良と言ふ事が盛んに行はるに伴なつて人種の改良も當然問題となるべきものであります即ち

▽微妙なる 又最も根本的なる應用の一つであると言ふべきものであります既に英米の如きは本問題に關して最も愼重なる研究を續けて居る樣でありますが日本等では唯私達仲間に依つて稍研究されつゝあるのである若し優生學普及發達の結果我が人類に良質をのみ遺傳せしむることが出來れば幸甚な譯である又近親結婚の如きは世間一般には最も有害なるもの、如く傳へられてゐるが近親結婚して有害なりやと言ふに必ずしもそうではない、露西亞の如きは最も

▽近親間の 結合を嫌つて居るが大抵の精神病者とか低能兒とか傳唱症其他近親結婚に依つて起ると傳へられてゐる病症が無いではない寧ろ多數を示してゐる樣な有樣である近來近親結婚が行はると言ふ事は主として統計から來つた結論の樣であるが統計と言ふものは前述の通り如何樣にも出て來るものであり其他近親結婚に關しては法律上從兄弟迄を許してゐる國もあるし叔父姪の程度迄許して居る國もあります曾て英國で

▽近親結婚 は許可の法律案を出だそうとした際の如きは府に下院を通過して上院に至つたが上院に於て僧侶連の大反對があつた爲め遂に法律とはならなかつたと言ふ事であります斯の如く近親結婚と云ふ事は主として宗教的關係から禁止されてゐる樣な傾きもあるのである(つゞく)

…西南隅なる事務所の一部を殘して七時半漸く鎭火せり被害倉庫の中には石油及び絡納せるものありし爲一時は火勢猛烈を極めたるが幸ひに消防隊の努力に依り揮發油倉庫は燒失を免れたり損害約二十萬圓の見込工事材料卷台其他殆んど全部烏有に歸したるが原因不明にて取調中なり(大阪特電)

…寄原線工場倉庫より突然出火し見る〳〵間に工場一棟に燃擴り各工場及び倉庫約二千坪を燒き盡し僅かに

◎王家御婚儀に
銀製 鶴の置物
＝を獻上

李王世子垠殿下と梨本宮方子女王殿下との御婚儀は日鮮融合を象徵する最初の御盛儀に就き在鮮高等官一同は醵金して記念品を獻上するの儀あり總督府武田總務局長等專ら斡旋の結果愈々讓纏り獻上品は銀製高さ三尺の鶴の置物一對とし目下李王職美術品製作所に依囑調製中なるが兩殿下御慶典後御帰列にて御來鮮の機會に於て獻上の筈なりと

◎京龍電話改制期

京城龍山間に於ける通話の原則は目下の如き度數制を繼續するも一通話三分の如き制限を撤廢せんとする案は局議一定目下必要の手配中なるが其實施も遠からざるべしと云ふ

◎目出度い店
員表彰式
食糧品組合の催し

京城食糧品卸商組合では十三日長谷川町銀行集會所で創立十週年祝賀を兼ね五年以上の勤續店員表彰式を舉行した、前十時擧式の筈のところ多忙の爲手の離せぬ店員が多く正午十分前に擧式となる此日表彰さるべき榮譽の店員は全部で

▽七十八名 何れも諸洒な風采、胸に紅薔薇の挿飾へ切れぬ嬉しの色を浮べながら大々定めの位置に着席する中には周衣姿の人も少くなかつた『只今から式を始めます』で組合長辻本嘉三郎氏の式辭朗讀、遠藤廣吉氏の演辭があり次いで來賓

▽金谷府尹 釘本商議副頭の祝辭がある、夫から賞狀及記念品授與に移り店員總代大木龍生氏の答辭があつて目出度く式を終つたのは恰度午後一時である同商組合として十年を經過したのも珍らしいが同時に又斯く多數の表彰者を出したのも珍らしい式後

▽記念撮影 があり來賓に對しては別室に於て茶菓の饗應があつた、表彰せられた店員は左の如し

▲十年以上 井上宗次郎、權相民、神藤榮次郎、李聖煥、平柳九一、金子玉吉、河合濱吉、白後儀、西山進助、劉泰収、江頭濟吉、大本龍生、松田寛、藤本正元、張俊猛、田中久藏平、小島守治、東強一、首藤治八、島崎隆利、涉谷清兵衞、朴順宅、岸田定四郎、秦元俊、金光榮植

▲七年以上 井上幾耕、大本秀藏、伊藤敏雄、長島松太郎、小谷積一、難波光一、白鳥策、山田國太郎、韓明炫、伊藤一、李明煥、古原市、木村榮順、高橋尾、任興吉、朱尚極、宮本惠吉、横山秀甫、地挾夫、曾我久太郎、井上太一、村永齊市、朴好秉、恒住國義、曹村繁一、間藤捷平、李卓煥

▲五年 松本英一、高己吉郎、一人、李壽年、藤田旭、西岡清八、渡邊信太郎、權藤茂七、井上定二、伊藤其吉、赤司俊雄、小柳徳太、織野與一、中野重作、大島金藏、村島九郎、佐伯信太郎、島村恒七、小形重人、佐瀬正一、熊本源太郎、堀口信市、高瀬勇、裵聖元

一等(六名)三輪時雄、鈴木胤太郎、秋山彌男、阪東鷹吉、外人二名、等(六十二名)役俸低率、池尻政吉、池田戸塚大之助、…

◎七里ヶ濱の身投
高山大佐の犧牲者

去る九日午後七時半鎌倉七里ヶ濱行合川の川尻より年若き美人が身投し將に溺死せんとするを巡回中の警官が發見し附近に居合せたる漁師と協力して救ひ上げ鎌倉署に連れ行きて取調べたるに最初は只

◈潜々と泣く のみにて何事も語らず頗る要領を得ざりしが警官の優しき訊ねに東京四谷區仲町六丁目九十五番地陸軍主計知弘二女みね子(三)と云ひ昨年某高等女學校を卒業せるものにて舊臘二十九日無斷にて家出せる旨答へたるを以て親許に照會中なるがみね子は先年退職となりし高山砲兵大佐と

◈關係ありし ものなりとの世評あり右に就き實父知弘は語る『みねと高山とは當時世間から隨分疑はれましたが先年山口縣にて鐵道自殺を遂げたる北島海軍大尉夫人佐子對高山大佐問題の卷き添を喰つたもので其實は全く無關係の如何に係らせうそれで事實の如何に係ら娘は全く社會から葬られた樣なものです爾來强度の神經衰弱に罹り同時に持病の喘息に苦しみ女心の一圖に思ひ詰めて死ぬる氣を起したものでせう歯科醫になる積りで横濱淡路町奥川方へ預けたのは家出する三四日前の事です、救はれたのは幸か不幸か知りませんが公然お嫁には行けない身ですから自活の途を講じて短氣を起してはならぬぞと傍戒して居つた次第であります』云々(鎌倉電)

初日の殊勳者
九州山を破つた大錦

◎精神の異狀に困る？
木村中央試驗所技師自殺の前日
『酩酊してゐると思つて保護した』
衆三浦及び平壤に於ける騷動

中央試驗所技師木村俊吉氏が自殺した前日の奇動について平壤及び衆二浦電話を綜合すると十一日午後三十分平壤著の列車で京城から午後一時三十分平壤に著いて直ちに驛前大同館旅店に投宿したので同家の女將は二階へ案內し樣とした所が木村氏は之を避けて溫突へ寢かして呉れと云ひ同家の溫突の部屋にして直く何處へ行つたものか外出して三十分許りで歸つて來た、ソレから氏は十午後から終日其溫突に

▽引籠つて 何事か獨り考へ込んで其の夜は眠つたか眠らぬか知らぬが十一日の朝も矢張り何ごとか頻りに物思ひに沈んでゐたが十一日午後一時三十九分平壤發の南行列車が出るので、氏は其列車に乘り黃州で乘換へて午後四時衆二浦驛に著した、氏は列車を降りると直ぐ驛長室に到り驛長の手の隙くを待つて名刺を小川驛長に通じて、色々の事を語り出したが、何うも些し變だと云ふことが驛長は何うか

▽援助をし て貰ひたい』と口走つた、さうして氏は斯んなことを繰り返し〳〵約一時間半も云つた揚句、今度は三菱製鐵所を視察したいと云ひ出したので、驛長は萬一を警戒して衆二浦巡査駐在所より森川巡査の出張を求め同巡査が護衛して木村氏は三菱製鐵所に赴いたのである、三菱製鐵所では丹んな事とは知らず、梅野所長、武藤庶務課長が氏を迎賓館に招待して茶菓を進めた所が、『貴下は自分の友人である』と云つた、木村氏と梅野氏とは固より年配も違ふし且つ初對面であるが梅野氏は心中に

▽酩酊でも してゐるのだらうと思つて程好く待遇ひ、且つ武藤課長も酩酊と見て今夜は迎賓館に一泊されては如何にと勸めた所が、其時木村氏の返答は極めて明瞭を缺いでゐたが、さうかうする內に突然木村氏は席を起つて室外に出て行つた、製鐵所側の人は多分便所へでも行つた事と思つてゐたが、待てど暮せど木村氏の姿が見えぬので茲に初めて大騷ぎとなり、梅野所長は固より重なる所員が夫々手を分て所內や市中の旅館等を探し、又一方此報に接した驛の警官駐在所では

▽捨置かれ ず高樂警部以下多くの警官が是亦市中を隈なく物色した所が何うしても氏の姿を發見する事が出來なかつた、ソレが其筈で此時既に木村氏は午後六時十分發の南行列車で京城へ向け出發した後であつたからである。是より先き衆二浦驛では前記の時刻に深然として木村氏が一人で來たので小川驛長は大に驚き相當の保護を加へると共に一方乘換驛所なる黃州驛に電話を以て通知し驛內出張の黃州警察部巡査に其

▽保護を求 めたのである黃州驛では豫て通牒があつたので黃州警察部巡査が木村氏に對して乘換其他に就て保護を加へ、茲に初めて氏は京義本線列車に乘り、黃州驛で平壤行の列車中へ入つたのである

◎黃金町火事
全燒二戶 半燒二戶

十三日午前一時廿分黃金町二丁目百二十八番地雜貨商朴桂昌方より發火し隣接せる上田武一、橋本久吉、川口市之助方に延燒せしも南門、本町、黃金町の各消防組の驅け付け極力活動したる結果全燒二戶、半燒二戶、入浴の被害を出さして漸く同二時廿分に至り鎭火す火の原因は火元朴桂昌が床元に布を張りて屏風代用として之を得たり紙燭を點じ置きたるに火の移り布に燃移り天井を燒きて大事に至れるものにして損害額は全半燒にて約六千圓の見込みなり

◎軍司令部へ賊
切手と貯金通帳を竊取

十日龍山軍司令部內に賊忍び入り郵便切手を取出し且つ金庫を開きたる形跡あり急報に接し龍山憲兵隊より出張取調の結果賊は同日午後六時より八時の間に司令部西側臨時雜築課の裏窓より忍び入り部下の手提金庫の箱を破壞して金庫を取出し之を開きたるも金錢無き爲め郵便切手箱を携へ司令部裏の高地に至りて之を打ち破り切手約三十圓と郵便貯金通帳數冊かを取出し逃走せし形跡あり犯人は司令部內にあるもの、如く目下嚴探中なり

◎悪古着屋

原籍和歌山縣當時京城永樂町二丁目榮城旅館止宿古著商植野京覺(三)は舊臘大晦日の夜北米倉町百二十二番地岩村タミ方に古著の賣物あることを聞知し或人より該古著の買入れを依賴されたれば一時借與へ賣たしと巧に欺罔して縮緬紋付外六點代價…

灯とし頃

女流雄辯家として天下周知の事だが其の娘さんの依子女史といふのが又母の血を享けて天晴れアマゾンの名を耻かしめない▲この依子女史先のころから、京城の各宿所を說いて中流鮮人の幼稚園を設しようと劃策、驟河の長慶寺を振つてゐるの▲先達も急に出で外務方面にも活用しようとする宇都宮軍司令官を訪問し、容易に動かない▲それで副官は『を利かして暫く應聞に立て』ない▲物故した奧村五百子女史こいへば愛國婦人會の創立であり女傑として…

◎學校が始まつた

冬期休暇で授業を休んで居た各小學校は十三日から第三學期の授業を開始した、二週間餘りも頭痛な家庭內に引込んで稍々物足りない正月を送つた腕白連、今日の始業、日がたまらなく嬉しいと見えて早朝から校門を潜り午前九時から始業式があつたが各校共に交々活氣橫溢しかつた校庭は俄に調き返るやうな賑ひであつた

…百七十圓の新治町二丁目中山某は…を盜んで宿泊料其他……費消したることを發覺し十三日本町署より檢事局に送られたり

取消 拜啓舊臘二十七日發行貴社新聞紙上釜山府の五小學校金之件長連決議に關する記事あり痛く世上の注目を惹き一株に當地方の父兄間に容易ならざる誤解を生ぜしめ候が事實は何等形跡だに無之に付き小生は直に右記事の事實ならざる旨を發表し一般の疑惑を解かんと勉め候も貴新聞は尚數回に涉り當初の記事を掲げ一層事實を擴大して報道…

…左記京城日報・大正七年十二月二十七日より同月三十一日に至る間左の意味の記事あり

一、釜山小學校教員は大正七年年末賞與の廢止に不平を懷き總辭職を企てたり云々

二、釜山某小學校長と教員間の軋轢が此の年末賞與の不平を導火線として同校の排斥を爲さんとすつゝあり云々

以上は釜山教育界に於ける重大問題なりと認め我々釜山學校組合會議員協議の結果全員調査委員となり大正七年十二月三十一日より本年一月六日に至る各方面に渉り綿密なる調査を遂げたるに右新聞紙に揭載せる如き事實絶對に存在せざる事を確めたり元來此の如き問題は事苟も教育に關する重大なる一大事件なるを以て須く愼重なる調査を遂ぐべきものなるに之れを爲さずして輕々に論議し父兄並に教員に不安且危惧の念を懷かしめたるは採く遺憾とする所なり仍て此際貴社は日報社に對し取消し方御交渉あらん事を望む

大正八年一月八日 釜山學校組合會議員
同樣三名 佐々木喜代次、田端正平、稲本富之助、石黑正之、村上元治郎、石原源三郎、伊藤庄之助、櫻木行雄、中村久四郎、松本小三郎、加藤東治、木下義、香椎源太郎

朝鮮總督府府尹若松兎三郎殿
大正八年一月十日 朝鮮總督府府尹若松兎三郎
京城日報社々長殿

撫順分課制

撫順炭坑は今回分課規則を改正し總務課(庶務係、調度係、會計係、出納係、計算係、採炭係、整理係、給與係、用度係)、事務係、購買係、現品係、試驗に關する事項、鑛山に關する事項、炭坑に關する事項(坑務係、保安係…)機械課(事務係、設計係、監查係、建築係、機械工場…)土木課(事務係、建築係、電氣係、水道係、…)の如し

新庁舎(建築費)十九萬一千五百四十九圓…新校舍…二階建教室一棟…

天氣 京城地方 晴　最高最低氣温…
日出七時四十八分 日入五時三十七分

謹賀 … 金もうけ 二十割の大利益ある…

溫陽溫泉
高等旅館 向貸家
階上客間 六室
階下客間 四室
附屬部室 四室
此家賃一ヶ月四拾圓
右今般旅館營業ノマ、方ニ至リ讓リ渡シ度此段御希望ノ但旅館附屬具ハ相當價格ニテ讓リ渡シス
忠南 株式會社 溫陽溫泉

謹近火御見舞 京城黃金町三丁目 天命堂楠藥房

謹近火御見舞 京城水標町五〇 松田自働車部 電話二三八番

謹近火御見舞 京城黃金町三丁目 碇 寫眞館 電話二三六番

謹近火御見舞 京城黃金町三丁目二四八 本田醫院 電話一四四三番

謹近火御見舞 京城黃金町二丁目 イバラキ自轉車店 電話一九二七番

謹近火御見舞 京城黃金町三丁目 中村精七郎 電話一五一七番

謹近火御見舞 株式會社中村組農林部 京城黃金町二丁目一三 藤原商店京城支店

內外興業株式會社支店 電話一八九番

謹近火御見舞 京城水標町 砂糖直輸入 德永商店 電話二一七三番

昨夜近火の際は早速御見舞を辱ふし奉深謝候混雜の折柄貴名何洩れも難計不取敢以紙上御禮申上候 京城黃金町三丁目 西村商會 電話三〇番、九二〇番

木材商會 電話四二八番

謹類燒御見舞 混雜の際御尊名何洩れも可有之不取敢以紙上御禮申上候 京城黃金町二丁目 食料雜貨商 上田商店 電話二六五番

謹近火御見舞 今曉近火の際は早速御見舞を辱ふし奉深謝候混雜中御尊名何洩れも可有之乍略儀以紙上御禮申上候 一月十三日 京城黃金町二丁目 首藤支店 電話一七一番

……十一日職制改正當時坑務課を廢し新に鑛務課を設置し田鳥次長兼務となり分課左の如し（庶務課）人事係、庶務係、地方係、事務係、運炭係、坑内係、運搬係……（鑛務課）事務係、鑛務係、採砂係……事務係は庶務及び計算に關する事項、業務用品に關する事項▲他係は採砂に關する事項、採砂係……械の運轉に關する事項（工業課）事務係、分析係、電務係、電燈工事係、發電工事係、骸炭工場及び硫酸工……（醫院）……務係、藥局、事務局

◎撫順炭坑豫算

撫順炭坑の大正八年度豫算概要次……

◎連絡船上陸客

十一日午前入港新羅丸二三等客……

★新聞昔物語（しんぶんむかしものがたり）

今から見れば寧ろ滑稽な程 幼稚な時代があつた……新聞の歷史（二）

對甕書樓主人（寄）

客臘三十日の京城日報に渡邊彰氏の『我國に於ける新聞紙の歷史』といふ一篇か掲載せられた。平素同氏の御趣味としては少し意外の方面の記事なので、一通り拜見した。但し別に珍奇といふ程の事もないので、此處に之が批評をする意志は毛頭ない。さりながら同氏の此の文章は小生に一種に一種の刺激を與へたくだらぬ筆を執るべく小生をそゝのかした。が何分歳末であり又純然たる不急の文字であるので、氣分の暢びやかな新春に讓つたのである。

渡邊氏に依ると我邦に於ける日刊新聞の創始は明治四年發刊の横濱毎日新聞であつて、東京では明治五年二月創刊の東京日々新聞を以て嚆矢とする。其の以前は半紙十枚程の木版摺りを一綴りとしたもので、毎月二三回づゝ發刊されたといふことである。小生は未だ木版摺りの我邦最初の新聞の實物を見たことがないが、偶然にも自ら明治五年發行の東京日々新聞を徹底に藏して居る。過日渡邊氏の物された新聞紙の歷史を一讀して不圖此の事を思ひ出し、徹底から引き出して見ると、正しく東京日々新聞第一百五十五、六、七の三號と第一百六十一號とで、其第一百五十五號は恰も明治五年八月十四日刊行であるから、即ち同新聞創刊後僅に半歳を經たばかりの卵である。其體裁といひ、文體といひ、記事といひ、之れを今日の新聞に比して雲泥霄壤の差がある。何れ其の道の人々は疾くに承知せらるゝ事と思ふが、未だ見ぬ讀者に、此の日刊新聞の卵を御紹介申さう。

我邦最古の新聞

（一）體裁（發行所、定價、郵税）小生の所藏する最初の東京日々新聞は僅に四枚のみであるが、其の一日分は普通の美濃紙一枚である。罫線の輪廓で圍んだ内は三段に區分せられ、各段五十行毎行四號活字十六字詰であるから、一枚の總字數（全部填充せらるゝとして）二千四百字である。由つて之を現在の京城日報に比較すると恰かも其の二段と四分の一にしか當らない。以て如何に貧弱であるかがわかるであらう。題號の處は

東京日日新聞　第百五十五號　明治五年壬申八月十四日丙寅　西曆千八百七十二年九月十六日月曜日　寒暖計正午七十七度

とあつて、隨分珍妙である。我邦の改曆は明治五年で、同年十二月三日を以て明治六年一月一日と定め、新に太陽曆を行つたのであるから、此の時はまだ太陰曆が行はれつゝあつた。そこで西曆『太陽曆』を對照したのである。本新聞紙の發行所は『東京元大坂町、日報社』としてある。京城の日報社に其の名の酷似するも面白い。定價は一枚即ち一日分が百四十文で、郵税は一週間三厘五毛』といふ割印が押してある。明治五年七月一日郵便が始めて國内に全通してより、僅に一箇月半後のである。

寄書

國人の見たる 獨逸民族の思想變化

一讀者

獨逸の學者間、殊に帝國主義の上の國民思想は、最近に至り甚だしき變化を起してゐる、昔日の誇張せる獨逸魂は今や其の影さへ沒し、國内は國民思潮の紛亂を來し、外患去りて内憂起り、國民は思想上の苦悶に逆戻りしてゐる、抑も此の歐洲を全然戰慄せしめた大戰亂開始の當時、獨逸民は將に全世界を征服すべく夢見、有らゆる困難、疲勞、流血、殘忍等殆んど顧みる暇さへなく只全世界降服と云ふ花やかなる勝利を妄想して、男も女も、勞働者も農民も、學者も資產階級者も、悉く未だ嘗て見ざる殘忍性と代りの『サディズム』の境に達してゐた、故に獨逸民には、子供の涙も、婦女子の歎願も、多大の血を流せし犧牲者も、耳を傾けしむるに價せず、精神上只忍耐に〳〵を重ねつゝあつたのである、然るに今や彼等は俄に此の猛獸的殘忍性を離れ今までの高慢不遜なる鼻を折り、婦女子は、國家に對し、講和條件の獨乙民の爲め、重荷ならざらんことの援助を歎願運動を開始し、尙ほ甚だしきは獨乙國民に不自由なき物資の供給援助する諸國を、請願するものさへありと傳へらる、サタンの如き獨乙は今まで、諸國を如何に蹂躙せしめたるや、之れを思へば、刀折れ、矢盡きたる今日、潔よく自殺するのが當然なのである、然るに却つて歎願的行爲を行ひ、恥辱を敢て思はざるに至つたのは、之れ實に意氣地なき見下げ果てたる根性であるが、一方國民思想上より見れば、將に獨逸民族の精神上には一大變化を來したのである、彼等の腦裏には既に、獨逸なく、カイゼルなく、從つて獨逸魂の育成教育方針たる利己主義、軍閥主義は其形を變じ、共產主義の思想は漸次、獨逸民族の心魂に浸入し獨逸民の思想上に動搖してゐる、されば帝國の演じたる過激派主義は益獨逸は果して如何なる國狀を呈するものか假に獨逸の勝利的講和を結ぶとせば、昔日の如き獨逸魂を現出するは容易ならざるべし

◇奉天より◇

奉天支局　老禿生

◇近來歐米國人の滿洲各地に於て活躍しつゝあるの情報頻々として至る際に米人が吉林省に於て電燈鐵道及び兵器製作の利權を獲たる由は既報の如くなるが最近傳ふる所によれば更に南進して鳳凰城の電氣事業に垂涎措かざるを報ずるに至りては其活動の舞臺大いに擴張し來りたると其の跋扈跳梁の見るべからざるものあるに一驚を喫せずんばあらず候

◇元來鳳凰城電氣事業の如きは邦人の滿洲發展と共に久しき以來の計畫になりたる處殊に昨年より其計畫は漸次具體的に進捗し來りたるものなれど其の資本と機械等の爲めに實現する能はざるは極めて遺憾なる事實に候

◆勿論該事業は放資の點に於て若干の不安を感ずるものあるべければ單に電燈のみを事業とするに於ては或は收支相償はざるに至るなきを保せずと雖も元來同地は北寬甸通化に南岫巖大孤山に通ずる要路に當り物資の集散決して渺少ならず就中同地に廻送して大孤山に搬出さるゝ柞蠶繭の良好なるは世人の等しく認むる所に候

◆吾人は曾て水清く山青く地拓けて交通運輸の要衝に當り且つ農工商の各事業の進歩に伴ひ物資の集散更に一大進境を示すべきを叫ばしめたる地にして又良好にして豐富なる柞蠶繭を原料とする製絲紡織業の當然企劃せらるべきを豫想せしめたる地としては電燈以外動力供給を併せ計畫し來らんに於ては決して絶望なりとは申され間敷と存候況んや該事業は普通一般の營利事業とは大いに其趣きを異にせるをや吾人は此の際我が邦人の一奮發を希はずんばあらずと存候豈啻に一鳳凰城のみにては無之候と同時に米人の活躍せる丈一鳳凰城に止らざるべきを察せざるものにて有之候

◎來二月一日の舊正月と 前景氣＝平壤

二月一日は舊曆一月一日に相當するを以て鮮人側の商取引は昨今漸く旺盛を極むるに到れり尤も本年は昨年の米穀[illegible]の昂騰順調なりし結果農家の手許潤澤なるより延いて一般の購買力增進し追て騰貴を重ね居れる綿布類も相當の捌振りを見つゝあるも今や若干目先安を豫想せる彼等は概して買控への傾向を示し居れるが取引價格に於ては前年に比し多額に上れる模樣なりと

◎石油高で何處も 電燈の得意時代

◆急に忙しくなりたる◆ 馬山電氣の擴張

京城電氣株式會社馬山支店にては石油暴騰の結果電燈の比較的割安なるに何れも電燈に代ふるを以て其需要日々に激增し之れに應ずるさへ困難なる程の好景氣なるが加ふるに近來下層鮮人迄も悉く電燈を使用することゝなりたるを以て左なきだに多忙の同社は晝夜日を眩すばかりなる多忙にて各係員は新春の三箇日も碌々休業の餘裕なく奔走しつゝあるが更に鎭海附近慶和洞なる鮮人部落に線路を新設するに決したる上從來試みざりし晝間各工場に對する動力の計畫をも實行することゝなりたる結果一層繁忙を極むるに至りたりと因に馬山丈けにても精米所鐵工所等に供給する動力は百馬力以上に達すべしと（馬山）

◎海の初荷 新年は積荷少し（釜山）

見越の積出多かりし爲本年初荷積みとして入港せる阪行汽船の數は例年に比し多く社外船のみにても安東商會扱幸明丸（四三〇噸）第二神山丸（四六四）第二龍海丸（四二二）澤山商會扱海寶丸（五〇八）二十七永田丸（八三二）第七萬盛丸（五〇二）大池回漕部扱第二大正丸（六〇五）等にして新年の釜山港内を賑はしたるに反し積荷としては殆んど絶無と謂ふべき狀態にて各船共空船にて出航せり殊に第二大正丸の如きは四日より七日迄停船しゐたるが空船の儘木浦仁川方面行きと變更し萬盛丸は今尚ほ出荷なき爲め停船中なり此の内二十七永田丸は二日以來阪神行貨物を募集中なるが僅に二三千噸の契約ありたるのみにて漸く積載噸數の四分の一に達する有樣にて其の原因としては釜山商人が内地の先高を見越して出荷せざるものと見て差支なかる可く何となれば現在釜山各倉庫の在庫數を調査するに約二十五萬叺を算するを見ても明かなり此の先高が果して實現するか否かは疑問なるも恐らく年頭に於ける社外船の空船回航は漸次時機と共に緩和さるゝも同航には甚大なる關係を及ぼすべしと見て可なりと云はれり

◎戰蹟の碑閣 ◆同船橋里、記念碑◆

明治二十七八年戰役に際し我大同郡大同江に於ける船橋里は……混成旅團が最も惡戰苦鬪したる地として右戰跡を記念すべく記念碑を建設しあるが右記念碑の碑閣は建設以來既に二十有餘年を經過し毀損せる箇所多く隨つて附近鮮童等が遊戲中閣内に入り惡戲を爲す等の如き處あるを以て平壤府に於ては是が保存上一日も忽にすべからずと爲し右碑閣修繕の儀は總督府に上申したる處愈々之れが修繕すべく決定したるを以て近く工事に着手すべく右經費は一二〇兩碑閣に七百圓なりと（平壤）

京城日報主催 氷上滑走大會

會場漢江人道橋下、期日詳細追而發表

◎天安と銀行業

既報の如く湖西銀行は京釜線天安に支店設置の認可を其筋より昨年十月に受け愈々本月十日より開業する事に決定し十一日は開業披露の爲め宴を開きたるが同行頭取成樂憲氏の談に依れば同行は三十萬圓の資本金なるも今回全部の拂込を爲したる上更に七十萬圓の增資を爲し其資本金百萬圓とし增資の第一回拂込を爲せば約五十萬圓の資金に目下禮山廣川等の預金二十萬圓を有し居るを以て天安地方商人に對し出來得る限り金融上の便宜を計り相共に將來の發展を期すべしと語れり（天安）

◎明滅常なく恰も 燈臺の如き電燈

清州官民の迷惑 衆口一齊に…何うかして貰ひたい

清州電氣會社の供給に係る清州市内の送電力は頗る不完全で光力の鈍い事と故障だらけ〳〵な貧弱極まることは一般の認むる處で會社に對する非難の聲が喧しい毎夜明滅常ならず而も肝心な興行物や多忙な年末などに一層支障を來して市民に迷惑を及ぼすことは一通りでない折角電燈の供給を受け乍ら洋燈の用意や石油の準備が無くては到底事務の整理や商賣をすることは不可能であると我慢はすれど是れも機械事業である

◆殊更迷惑 を感ずるのは郵便局であらう時間仕事で終夜活動の衝に當つて居る郵務に唯一の倚るべき電燈の故障があつては殆んど腹の立つも無理がない殊に局は渡切り經費であるから現今の樣な石油の暴騰せる今日一夜一升五合を消費する有樣では誠に迷惑千萬である

◆尚ほ病院 で患者が苦痛の場合看護の任に當つて居る醫夜中に故障があり暗獄で終夜警戒に務めて居る監房が眞暗になるなどの如きは商家の迷惑よりは一倍である斯かる缺陷は何れに起因するか全く技術者の手不足と器械に對する諸般の設備と取扱者の智識に缺陷が多い結果である已に革なども大金を投じて新調された場合機械の運轉を

◆巧に使用 したならば斯かる慘めな樣を見ない然るに調速機や抵抗機の使用調節に不得手では好結果は見られぬ從業者は鍛冶工上りや鮮人電工の二名では到底物にならぬ宜しく電氣學に明るい五級位な技手と機械に一二名の經驗家がなくてはならぬ故障もあるまいが只經費の關係上相當の人物を採用せず

◆姑息手段 に打捨て置く結果斯かることになるのであらう願はくば速かに會社の革新を圖つて完全に市民に滿足を與へることを切に望む殊に近來從業員中勞銀値上問題が起つて內訌もあり且つ鮮事を來すことかで燃料不足問題で

◆困り切て ゐるとか併し今少し關係者が奮發して一大改革を施したら此の弊害を救ふことが出來るであらうと市民は何れも不滿足の聲を洩してゐる（清州）

◎輕鐵で人氣引立つ 馬山其他慶南地方にては

五州輕便鐵道發起人一戶金太郎、及び杉山豐次郎兩氏は全羅南北道の關係沿線の實地踏查と經濟調查とを爲しつゝ慶南河東より晉州を經て舊臘馬山に到着し目下猶ほ滯在中なるが同氏一行の來馬するや馬山の官民は一行を旅館に訪問して意見の交換を爲すのみならず年末多忙の折柄にも拘らず本鐵道の成否如何は馬山の死活問題と爲すの結果主なる民間有志發起して一行の再三辭退せしに拘らず歡迎會を開催し且つ如何なる犧牲を拂つても一日も早く本鐵道の實現せんことを熱望するに至り該一行も大にその重大なるを加へたるを感ずるに至りたるが若し五州輕鐵が本年九月工事に着手するに至らば馬山は從來の不景氣より一變して活氣勃發の人氣地と化し市況は日に月に旺盛を極むるは言ふ迄もなきことゝなるべし發起人に於ても馬山に多大の希望を有する如く且つ工事は第一期線に屬することゝて必ず今秋より着手せらるべく既に工務所に適當なる家屋を捜さしむるを聞くに至つて本年の馬山は激浪の中に何となく活氣を帶び來りたるやの感あるが其原因は五州鐵敷設の愈確定的となりたる爲めなるべし（馬山）

◎水產會社（鎭海）

鎭海水產株式會社は舊臘總督の認可あり目下會社の設立準備に多忙を極めつゝあるが第一著に株式を募集することゝし四千株中三千七百株は既に發起人及び贊成人に於て引受くることゝなりあるを以て殘り三百株を公募しつゝある次第なるが有望視さるゝ水產會社の事とて早くも豫期以上に應募ありたる由

◎練習艦動靜（鎭海）

鎭海軍港停泊中なりし練習艦隊常磐吾妻の兩艦は六日より十日迄加德島沖に於て砲艦射擊演習を行ひつゝあるが同艦隊は來る十六日鎭海軍港に歸港し更に準備を整へて遠洋航海の途に上るべし

◎水道復舊（奉天）

斷水に就て奉天市民は大弱り當局は破損箇所不明の爲め大戶惑ひの姿なりしが漸く其の損所判明し目下復舊工事中なるが十日十一日の兩日は午後四時半より二十分間給水をなし十二日より平常の通り復舊すべく發表したる爲め兩者共に漸く愁眉を開けり

◎校長會議（慶尙南）

慶尙南道にては管內の公立小學校長を召集して來る三月左記順序に依り會議を開催する由

（一）三月十一日より三日間 學級以上校 召集（一）三月十二日より三日間 一級中校（馬山）

◎吳服は廉くなる 先づ三月頃から

綿絲下落と共に吳服物が從來より二割、物に依つては三割も下落したと傳へられてゐるに對し東京市內某小賣商人は語る『相場が下落しつゝあるのは事實です併し東京市內に堂々たる店構へをして名の響いて居る店なら知らぬ事

◆一般の小賣 業者は右から左と直ぐに値段を下げる譯には行きますまい、何故かと云ふと相場の騰貴した時分に春や暮の支度を見越して澤山仕入れて居るのが今に殘つて居る、殊には舊臘から新春へかけて景氣の好かるべき筈であつた世間が、講和風と共に多少不景氣に傾いた氣味合から此等など吳服物は案外に捌けず

◆甚だしい店 になると仕入品が其儘手附かずにあると云ふ位ですから今此處で織元や問屋が値を下げたからとて、小さい店がオイソレと投賣的な廉賣をした日には忽ち耗つて終ひます、併し追々と舊仕入品の融通も付き一方元方が安くなつて來れば自然廉價の出來る道理で、先づ

◆其の時期は 三月頃からでせう、但し下ると云つても例令ば十五圓した銘仙なら十三圓位、三十圓のお召なら廿七八圓になる位なもので所謂二三年前のやうな値段に返るやうな事はないと思ひます』（東京）

◎娘故に縊死　平安南道

陽德郡大倫面上基里農金錫奉（五二）は去大正二年頃同里なる崔鳳珠なるものに長女金允京を嫁せしめたるが元來允京は阿婆擢れにて同里の金炳玉（二四）なるものと不義を働きたるを夫の鳳珠が知つて遂に允京を離緣するに至りたるが崔は右婚姻に要したる費用を償せよと允京の父金錫奉に迫り日夜强談を爲したるも金は右費用を辨償するの金子なく遂に世を厭ひて娘の爲に附近の山林に至り縊死を遂げたりとは哀れなること共なり（平壤）

一寸した心得

◆油蟲を退治する法◆ 火鉢や竈へは油虫が生き易いものですが、あれを退治するには硼酸で燻すが一番であります、一度位では全部を治してしまへぬさきは三四度も繰返して燻せば、皆な逃げてしまひます。

京 永登浦

▲禪學會 永登浦禪宗布教所にては京城別院より高田布教總監督師を聘し十三日午後七時より第一回禪學會を開講せり▲歌留多會 永登浦歌留多好者は十二日正午より永登浦本願寺に於て一二三級の競技會を催したり▲始興郡新年宴會 始興郡內永登浦、鷺梁津、始興郡衙の官民有志約六十餘名は十一日午後一時より驛前浦田旅館に於て戰捷祝賀と在住者の意志疏通を目的とした新年宴會を催したるが發起者を代表して山田警察署長の挨拶あり續きて智田皮革會社長、始興郡守等の戰捷第一年の年頭に於ける感想と國民將來の覺悟に就き懇切なる演說あり次に餘興の落語浪花節等ありて酣に移り同地の藝妓數名更に興を添へ午後六時散會したるが永登浦ありて以來の盛會なりしといふ

★西伯利亞の人口＝最近調査＝

州名	面積（萬方哩）	日本との比較	人口	密度（一方哩）	都市人口
沿海州	[illegible]	一倍八割一分	[illegible]	二人三分	[illegible]
樺太州	[illegible]	九州より稍大	[illegible]	二人三分	[illegible]
勘察加州	[illegible]	三倍四割二分	[illegible]	〇人〇分八厘	[illegible]
黑龍州	[illegible]	一倍五[illegible]	[illegible]	一人六分	[illegible]
外貝加爾州	[illegible]	一倍六割二分	[illegible]	四人七分七厘	[illegible]
イルクーツク縣	[illegible]	一倍九割一分	[illegible]	二人九分	[illegible]
ヤクーツク州	[illegible]	十一倍四割二分	[illegible]	〇人二分一厘	[illegible]
エニセイスク縣	[illegible]	[illegible]倍六割八分	[illegible]	一人一分	[illegible]
トムスク縣	[illegible]	二倍二割二分	[illegible]	十二人三分	[illegible]
トボリスク縣	[illegible]	三倍[illegible]割五分	[illegible]	三人八分	[illegible]
計	[illegible]	卅二倍九割二分	[illegible]	二人一分	[illegible]

氣象豫報

▼氣壓の配置▲ 高氣壓（位置）蒙古滿洲（示度）七七四 低氣壓（位置）日本海南部（示度）七五六

一月の腦神經療法

斯くして治し 斯くして防ぐ

■夜更しと酒 樂しい正月、交際に忙しい正月、誘惑に追はれる正月。夜更し、朝寢、不規則な飲食、殊に酒。正月は動もすると腦を害し、とり分け腦神經を害する虞の多い時である。けれども大概の人は正月を知らぬ顏では過ごされぬ。大なり少なり此不規則な生活の中に卷込まれぬ譯には行かぬ。茲に於てか其れに對抗して腦神經の病を防ぐの手段が是非必要である。

■頭痛と便秘と逆上 殊に頭痛持の人、便秘性の人、逆上性の人抔は、謂はゞ腦神經に故障のある人なのであるから、此際一層の注意を要する。斯ふ云ふ人達は格別に心を用ひないと、芽出度い年の始めが旋て呪ふべき腦病や神經衰弱の始めとなる。酒を呑む人の如きは急劇な腦卒中抔に襲はれる事もある。是に對する最良の防禦は『島村醫學博士が有効な證明』せられたる腦病良藥『健腦丸』である。何故といへば健腦丸は便通を快くし逆上を引下げて頭を爽かにし、頭痛を治し腦の故障を防ぎ、神經の病に對して抵抗力を强大ならしむるに至大の効力を有つてゐるからである。而も其効き工合が極めて鮮明で迅速でないからである。

■病者に於ては？ 既に普通健康者でも斯く腦神經を害し易い今であるから、常に腦の惡い人は最早や種々迷つたりする可き場合でない。速かに健腦丸を用ひて御覽なさい。兎に角一週間分續けて御用なさい。不思議に反應が現はれます。健腦丸で好結果を得た人は世の中に非常に多い故に絕大の信用がある譯じあります。

■安心して服める藥 實際健腦丸の製劑は尤も安全第一である。何となれば設備尤も完全なる丹平商會の製藥場の數多の專門技師が研究に研究を重ねて、優良の高價新藥を選んで作し更に嚴重なる監督の下に製劑されたのであるから信用して服める筈である。今日では腦病藥としては東洋第一の劑の實を有する。健腦丸の價は四回分廿錢から十週分五圓迄種々あつて、全國藥店並に海外有名都市に於ける藥店に取次販賣して居る。若し賣切の際は大阪丹平商會本店、平野町丹平支店、京城[illegible]丹平支店へ御注文あれ

たんせき ぜんそく 見る間に切れる！

嚴寒となつてたんせき、ぜんそくが愈々流行出しました、普通の風邪心地がたんとなりせきとなりぜんそくとなると最早油斷はなりません、捨てゝおくと肺炎、肋膜炎等に變じ遂には

肺結核の原因ともなります

永年痼疾のたんせき、ぜんそくの人は勿論、本年始ての人も早く龍角散を服用なさいませ。

龍角散は香味爽やかにて服みよければ如何なる藥嫌ひの人、子供にも適し、服む度びに精神ハツキリと蘇生せしめ、咽喉の苦しみを除き、數年頑固のたんせき、ぜんそくも痰を剝ぐやうに自然と快癒せしむ。

かゝる人は必ず試みよ

◎たんにて常にゴホンゴホンと惱む人
◎ぜんそくにてゼイゼイいき切する人
◎せき頻に出て夜中オチオチ眠り兼る人
◎流行感冒より起るたんせきの人
◎肺病にて常に力なきせき出づる人
◎たん臭氣を帶び時々血の交る人
◎百日ぜき又はしかせきの小兒
◎音聲のかれ又咽喉のいたむ人

定價 三日分 二十錢 一週分 四十錢 二週分 六十五錢 一月分 壹圓卅錢 郵税 無料

本舖 東京市神田區豐島町 藥劑師 藤井得三郎 電話神田二〇七八 振替東京九一〇一番

取次 全國各藥店にあり本舖へ御注文は振替又は代用切手代用に願上候

商況

東京株式特電

十一日後場

	引値	前日比
東株	三〇七、〇	九高
同新	一六〇、九	三、〇高
商船	一三〇、〇	〇、一〇
郵船	一二〇、〇	〇、一〇
同新	一八〇、〇	〇、〇五
東京汽船	〇、八〇	〇、三〇
同新	二四〇、〇	〇、〇〇
鐘紡	二三四、〇	一、〇〇
同新	一三〇、〇	
東京紡		
寶田石油		
日石新		
横濱取引		
北海炭坑		
第一新	一五四、〇	
第二新	一二〇、〇	
東拓	八三、〇	
同新	三三、〇	一、〇〇

東京現株中値

十一日正午中値

東株	一六〇、〇〇
同新	
朝鮮銀行	
南滿鐵道	一五二、五〇
第一新株	一二六、五〇
第二新株	七九、五〇
南滿製糖	
朝鮮製糖	二四、〇〇
滿洲製粉	
京城電氣	五七、〇〇
同新	一八、〇〇
朝鮮瓦斯	二四、〇〇
商船	
同新	
郵船	一九四、五〇
同新	九六、〇〇
韓紡	
同新	
東拓	八〇、五〇
朝鮮信託	

東京期米特電

日後場 高値 三十八圓四十錢 安値 三十八圓廿錢 止め 三十八圓十九錢
十三日前場休業

大阪株式特電

十一日後場

宇治川水	五四、〇〇
東洋紡績	五四、〇〇
京阪電鐵	五四、〇〇
合同紡績	五四、〇〇
鐘淵紡績	四二、〇〇
同上新株	四一、〇〇
東洋汽船	二三、五〇
大阪商船	五四、〇〇
同上新株	五三、〇〇
郵船	五二、〇〇
同上新株	五一、〇〇
堂島米穀	五四、〇〇
東京株式	五三、〇〇
大阪株式	五二、〇〇
同新株	五二、〇〇
日糖	五〇、〇〇

十三日前場休業

大阪期米特電

十一日後場 寄付 三十七圓六十一錢 高値 三十七圓六十九錢 安値 三十七圓五十九錢 止め 三十七圓五十九錢
十三日前場休業

兵庫期米特電

十一日後場 寄付 三十七圓八十錢 高値 三十七圓九十一錢 安値 三十七圓七十八錢 止め 三十七圓七十八錢
十三日前場休業

下關期米特電

十三日前場 晴 寄付 …… 高値 …… 安値 …… 止め ……

雜

綿布漸く閑散

綿布は其後相當の入荷あり且つ鮮産の地方仕入も一段落を告げ昨今漸く閑散の商況を呈し…

正米強持合

依然新規の買物は少なく…

一圓見當に四百六十

晒金巾

引締まる

鐵材氣迷ひ

商談絶え割安物のみ…

支那粟ヂリ高

支那粟は輸送の不圓滑にて前約品の入荷渉々しからず…

現物十六圓二三十錢に引締まる

石油値上げ

五十錢方値上…

明太魚昂騰

十圓乃至七十三五圓

鰊好賣行き

昨冬の走り品…

浦項近海の大漁

百四十五圓處

昆布は割安

下關相場

朝鮮米も不味…

仁川期米

十三日前場(寄安後昴騰)

氣配を移し大阪の安を…

釜山市場

仁川正米

生魚市場

齋藤榮之助

市場雜觀

外米代用格付

格付差額及市價差額

仁川取引所

十三日の三月限

北濱たより

白米標準値

三十九圓五十錢

白米小賣値

四十錢 三十九錢五厘

東京荻長の賣物

揃丈に大阪安も利

逆高張買方の手

期近攻目的

米穀雜貨委託賣買 仁川米豆取引所仲買人 廣澤正次郎 仁川海岸町三丁目 電話長一六五番

米穀雜貨委託賣買 仁川米豆取引所仲買人 田中金兵衛商店 仁川海岸町三丁目 電話長五六六番

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 電話長一九〇番 四〇五番

倉庫

毛谷村六助 卅六番角力

桃川桂玉口演 一百十三席 浪上義三郎速記

西波平九郎は弟平助の負けたのを見て心を焦ち 平九『コレ平助、其方如き者は近江氏のお相手には、なるまい、平九郎が代つて一と手願はう、イザ近江氏、お出下さい』と平九郎は小太い袋竹刀を取直して道場只中へヌッと出る、典膳も同じく立對つて相上段に附けて睨み合つて居る、大勢の門弟も心配をして此の勝負如何あらん、願はくは師の典膳に勝たせたいと思つて見て居ります、暫く附て居たかと思ふと西波はエイと叫んで打込んで來る、さしッたりと典膳は一足退つてカッキリ受ける、ポン〳〵〳〵と三合合して居たかと思ふと、平九郎が打下したる竹刀を受け止めたが、小手が下つて左の肩を拂か打たれアッと云つて典膳が退らうとする處を平九郎は飛込んで胸の邊へ身體を打付けました故典膳は仰向さまに仆れた、餘り事に參つたといふ聲が出ない、平九郎竹刀を取直して七八本續け打に典膳を打据ゑた、典膳は默つて居れば何時まで打たれるか知れない、漸うに 典『參つた』平九郎は カラ〳〵と打笑ひ 平『イヤ早立派な道場を開いて近江典膳と看板を出して居るから、ちとそつと出來る人だと思つたが案外未熟なことだ、かゝる腕前で指南をするもすさまじい、表に出してある看板は拙者が申し受けて參るから然う思ひなさい、コレ門弟衆、表の看板を取つて參れ』○『承知いたしました』西波の門弟が表へ飛び出して看板を外してしまつた、西波平九郎は右の看板を門弟に擔がせて立出ました の道場を大手を振つて立出ました、サア後は大變な騒ぎだ ○『先生、お怪我はございませんか、確かり

なさいまし、酷い奴があつたもので看板を持つて行つてしまひました』典『ウーム、門弟衆水を一杯くれ、何に看板を持つて行つた、看板を取られては明日から道場が開いて居る譯に叶ん、恐ろしい奴だ然し西波平九郎と云ふ奴は腕前は優れて居る、却々典膳の及ぶ處でない』○『後を追つ蒐けまして看板は取返せませんかな』典『思ひもよらぬ』と云つて居りますと玄關で『賴む〳〵』といふ聲が聞ねる ○『先生、西波が又引返して參りましたぜ、看板を擔いで行つた處で仕方がない、返して遣る、其の代り金でも寄來せといふのではございませんか』典『何しろ出て見なさい』門弟は恐々ながら玄關へ出て見ると、平九郎と思ひきや龜井新十郎

先生が立つて居りました故、餘りの事に驚いて奧へ飛込んで參りまして ○『先生來ました』典『平九郎が來たか』○『然うではございません、典『何龜井先生がお歸りになりましたか』○『左樣でございます、龜井先生がお歸りになつたのであらう』○『見違へる氣遣ひはございません、そんな筈はない貴公見違へたございません』近江典膳は不思議に思ひましたが、玄關へ來て見ると新十郎が立つて居ました故 典『オヤ、是はお歸りでございましたか』新『何だ典膳、今門弟が出て參つて俺の顏を見て大變だ〳〵と申して奧へ蒐け込んだが、如何いたしたのぢや』典『先づ〳〵先生お上り下さい、是には理由のありますこと、それに就て貴下は何でお歸りになりました』新『當所を出立して播磨路へ參つてそれより立戻つて參つたが、又是より出直して關東へ參らうと思ふのである』典『左樣でございますか、何は兎もあれお通り下さい』と案

内をいたしまする、新十郎は典膳に對ひ何か道場に間違ひでも出來たことかと尋ねましたる時に近江典膳は斯く〳〵云々の譯で、西波平九郎の爲に道場を荒されました時に、板を奪ひ取られましたと委細の看龜井新十郎は大いに怒りまして、其の看板は俺が取返して遣らうと直に西波の後を追蒐けました

對米貿易注意

從來本邦商人中米國に對し各種商品の買付注文を爲したる向にして休戰以來商業上の德義を蔑視し該商談を破棄するもの多き由にて是一部米國人の間に問題を惹起しつゝあるが之れを放任せんか本邦商人の信用を毀損することは大なるのみならず延いて戰後の對米貿易上にも容易ならざる障礙を來すべきを以て此際當業者各自に於て取引上の道德を尊重し如上の悪評を蒙らざる樣注意し之が取締手段を講ずべしとの意味にて當局より京城商業會議所に通牒ありたり(平壤)

九星問答

雲井堂主人

本紙の九星と他新聞の九星との相違が出來ましたので讀者諸君から數十通の質問書が來たが、之に對して再び左に辯明して置かう

一體から云へば本年の元旦は五日になるのが順序であるが、二黑と定めたる理由は、一年は三百六十五日であるが、幹枝は三百六十日で一週する、故に毎年の年は五日の餘日が出來るので之が積り積つて六年目には三十日となるから季節と著しき相違を生ずるのである、故に六年目に於て改暦の必要が生じて來る譯で、其改暦の順に據つて繰るのが正當である、甲子の月の甲子の日を以て一白中宮に改めソレより滿五箇年間は此の順にて繰るのが正當であるが、而して又六年目に甲子の月の甲子の日が來るから其時又々其日を一白中宮にするのである、だから正しい方法で繰る九星の巡りは本年元旦を二黑となすのが正當である

一月十四日(火曜)(舊十二月十三日)三碧 のぼる 吉 ▲こと ▲のぞく ▲ 吉

▼三碧▲綿密の思慮を要する日也
▼四綠▲親しみ深き日にて花やか
▼五黃▲得て力味甲斐のなき日也
▼六白▲乘出すと損のゆく日なり
▼七赤▲うかと人の世話をすま不可
▼八白▲欺まされぬ樣用心すべし
▼九紫▲願つたり叶つたりの調子好き日也起業移轉金談婚禮其他吉
▼一白▲花の如く賑やかなる日に一日を愉快に暮し得べし萬事吉
▼二黑▲何んこなく下らなき日也 て何事もテキパキ行くべき日なり

演藝案内

壽座

京城本町 電話五七八 十三日より當週 京城家庭劇 女優劇有賞藝俱樂部 ▲大切 道行 ▲第五 變ぬ夫婦 ▲第六 大魔術 ▲二 ▲ラ ▲ブ ▲トドロキ

有樂館

活動寫眞常設館 早川寫眞部直營 電話(長)五七番 新派悲劇 第三幽靈船 ▲三日より尊く品と連續齒公開

黃金館

名親 人情劇 想ひ出 新派悲劇 二人

壽館

本町一丁目 電話一〇五〇

京城座

愛三大一座開演

浪花館

明治町 電話二六〇 讀心術 想夫憐 吃又平

大正館

電話八七三 武藏坊新藏 ドーグラスの奮闘 月魄

文樂座

本町五丁目 電話一三三八

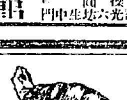
良職業

生活難を憂ふる勿れ 高尚有利の事業也今回大に地方支部長を募集す退信料三錢用紙へ至急申込べし直に採用し規定書を送 東京市芝區愛宕町二丁目十四番地 帝國法律普及會

ゆひきり

ひゞ、しもやけ、切疵、腫物 火傷、痔疾等に大妙藥は 定價 五錢、拾錢、三拾錢、五拾錢 本舖 大阪東區瓦町 難波橋筋角 中井馬鑑製 御求めの節馬の商標に御注意を乞

資本金六百萬圓 積立金金百貳拾五萬圓 株式會社十八銀行京城支店 京城府黃金町二丁目 振替貯金口座京城八一四番 電話四二〇番五八〇番
同 新龍山支店 京城府漢江通り拾參番地 電話五五〇番
同 龍山出張所 京城府元町二丁目 電話一八番
銀行一般ノ業務ハ精々確實ニ取扱可申又京城支店及龍山出張所ハ株式會社長崎貯蓄銀行ノ代理事務取扱申候



龜の子束子 の御愛用に限ります

口は病の門 食物を調理する臺所の不潔は口腔に黴菌を呼よせる原因となります から常に眞正の龜の子束子で食器や炊事器を入念に淸め臺所のあらゆる黴菌を驅除して衞生根本の安全を謀らねばなりませぬ

本舖 西尾商店

內科 胃腸病

診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二七二九番

男女ひみつ病

專賣特許 (名譽金牌) 生殖器不完全、機能障害、包皮、神經衰弱、りん病こしけ消から奪を自宅で手輕に治す 多數博士證明の器械療法說明書無代で進呈 東京市京橋區本材木町三ノ二五 大阪市北區北森町一番地 新療法研究所

外科 皮膚科 瀨戶醫院

(診察夜九時迄) 京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話四九八二 醫學士 瀨戶潔

朝鮮郵船出帆

▲敦賀行 浦潮、城津、元山、鬱陵經由 ...
平安丸 一月 日 元山發
▲浦汐行 浦潮經由
平壤丸 一月 日 元山發
▲埠亢行 關門、釜山、各港經由
忠淸丸 一月十五日 釜山發
咸鏡丸 一月十八日 元山發
隱城丸 一月廿二日 元山發
▲大阪行 關門、神戶經由
肥後丸 一月 日 釜山發
▲元山雄基線
隱岐丸 一月十八日 元山發
×忠淸丸 一月廿六日 元山發
雄基丸 一月廿九日 元山發
 一月廿一日 釜山發
 一月廿五日 釜山發
▲關門行 雄基、淸津、城津、元山、釜山、各港
▲金剛山遊覽便 元山發長箭行毎月六回但自六月至十月間
▲釜山浦項線 釜山發蔚山方魚津九龍浦經由
▲對馬島行 釜山發浦項經由
金海丸 一月二十日 釜山發
▲濟州島行 釜山發長承浦、麗水、巨文島經由
昌平丸 一月二十日 釜山發
▲濟州島行 木浦發莞島經由 西廻ハ濟州島ヲ一周
東廻 公州丸 一月廿六日 木浦發
西廻 慶興丸 一月十九日 木浦發
▲釜山鬱陵島 釜山浦項經由
▲木浦群山線 木浦群山間每日一回出帆
▲多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 一月廿一日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
晋州丸 一月廿一日 仁川發
▲海州行 仁川發各地經由
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
丸 一月 日 仁川發
▲大連、青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 一月二十日 仁川發
詳細ハ本社又ハ代理店ニ御問合アリタシ
本社 京城南大門通(電話長一九五二三)
釜山 佐藤支店
元山 岸田出張所
仁川 代理店 堀回漕部
木浦 代理店 原回漕部
京城 取扱店 松原運送店
其他各港地ニ荷客取扱店

日本郵船仁川出帆

大連、秦皇島行
酒田丸 一月二十二日正午出帆
淡路丸 一月二十三日正午出帆
(横濱ニヨリ早發スル アルベシ)
仁川海岸町一丁目(電話十番) 堀回漕部

共同汽船仁川出帆

大連直行(關東都督府命令船)
共同丸 一月廿一日正午出帆
朝鮮總督府命令航路ニ依リ大連行…
仁川代理店 本町四丁目 電話七三番
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、大阪行
君が代丸 一月十四日午後四時出
大有丸
群山、下ノ關、大阪行
神代丸 一月 日後四時出
仁川海岸通二丁目(電話五九番) 高杉回漕部

互光商會汽船廣告

◎元山、西湖、城津、淸津行
第三 春日丸 一月 日 元山出
◎門司、宇品、神戶、大阪行
第三 春日丸 一月 日 釜山出
釜山 大池回漕部(電話一三二)

(四) 大正八年一月十四日

第五版

京城日報

[illegible]三個の目的を以て[illegible]事業的[illegible]をなしつつありと傳ふるも又氏一[illegible]組織が斯の如き事業をなすに容易の保障を與ふる答に[illegible]に殊近に[illegible]なるが爲めにして我赤十字隊も米[illegible]於ては醫業材料の[illegible]國同隊と等しく此の事業をなし居バイカル方面にては[illegible]供給するは勿論一般[illegible]材料を[illegible]も送り居れり又オムスク方面にて[illegible]座列列、那等扶斯盛んに流行し[illegible]して來りたれば目下之れに就き[illegible]中なり以上は先づ應急的措置にして將來の事業としては露國の産業[illegible]

俗論を排す　謬想の三（下）（五）

京城日報

軍備制限

軍備制限の實行には、其の前提たる要件として ウィルソン氏の所謂國際聯盟、海洋自由、經濟上の機會均等を決定するの必要あり。是等の要件にして遺憾なく樹立し、永久の平和を保障し得るに至らば、武裝的防衛の必要大いに減却するは云ふまでもなき次第なれば、或る程度まで軍備を縮小し得ざるにあらずと雖も、現に吾人の目睹しつゝある如く、英國は第一に海洋の自由に就き異議を唱へ、さすがのウイルソン氏も一歩を讓るの止むべき状態に在り。又國際聯盟に就いては超國家的權力設立の議など傳へられつゝありと雖も、此の如き權力は如何なる内容を以て組織せられ、且つ如何にして其權力を執行すべきかは大なる疑問にして、所詮は英米佛伊日といふ如き強大國の聯合組織とするの外なく、而も其執行力も亦是等の強大國の力に俟たざるべからずとせば、問題は復逆戻りして強大國の強大國たる素質を造る所の『力』の問題に歸せざるべからず。殊に我日本の如き今日世界の一等國に伍し得る所以のものは、一に強盛なる武備の存在に因るものにして、之を外にしては經濟力に於いて、學問に於いて、何等卓出したるものゝなきにあらずや。若し我邦を丸腰にして、之れを世界の競爭場に押し出したらんには、吾人は恥かしながら第二流第三流に墮在するの免れ得ざるを知る。軍備制限談何ぞ容易ならんや。

且夫我邦の軍備にして、現在各國を標準として其の水平線以上に在るものならしめば、多少の制限を加へ得ざるにもあらずと雖も、其の陸軍に於いては、人口寡少なる佛國の半ばにも達せず、其の海軍に在りては、不完全姑息の計畫たる八六艦隊すら、大正十二年ならでは完成せずといふにあらずや。而も支那西伯利といふ如き、至極なる邦土と境を接し、其治安の恢復を援助し、其の秩序の維持を支持せざるべからず。徒らに英國主義を手本として海主陸從を唱ふべきの國状にあらず。英國首相の提唱する徴兵令撤廢の如きは、思ひも寄らざることたる（恰も英國の海軍制限など念頭に出たることなきと均しく）のみならず、米國大統領が所謂國内の秩序安寧を保つより以上に、我が陸軍は非常に重大なる任務に服しつゝあることを忘るべからず。現に五箇年に亘る大戰中に、東洋の平和を確保し、歐亞の動搖を鎭ましめざりしもの、實に我が武力の賜にあらずや。是之を察せずして、漫りに英米の提議に雷同せんと欲する輩の如きは、吾人の切に遺憾とする所なり。勿論本邦の立場として、一概に英米の提議に反對せんとするの意なし。今之れに反對し、彼等をして日本は第二の獨逸たらんとするものにあらずやとの誤解を抱かしむるは、斷じて策の得たるものにあらず。主義として之に贊成し、畢竟成立の見込覺束なき國際聯盟の如きも、原則の確立だけにても助成すべきなり。其他永久平和樹立に關する問題に就いては、成るべく理想に近からしむるの方法を執ることも必要なりと雖も、自ら求めて國防の頽敗を來たし、二位三位に墮在するが如き決議に加はることは、斷じて忌避せざるべからず。

我が政府が豫て計畫せる陸軍編替（軍團組織）を一時延期したるに對し、恐らくは講和會議に於ける軍備制限問題の影響なりと解釋し居るものある樣なるも、是實に帝國の立場を解し得ざるものゝ見にして、或は政府の眞意を窺ひ知らざるの致す所なり。要するにこれ財政の都合に因るものにして、根本計畫に變更を加へたるものにあらざることは、吾人の確信する所。吾人は斷言す、國防に關する措置は、其國の必要に應ずべきものにして、妄に他の強制を受くべきものにあらずと。

通信雜話（下）

▲紙を食ふ牛　羊が紙を食ふことは珍しからぬことなるが牛の紙を食ふことは甚だ珍聞也近著の某英國雜誌上に記載する所に依れば英國の田舎にて集配人某が某地にて郵便物を配達せんとせし際道路を迂廻する煩を避け田畑を横切りて某家へのみ配達する郵便物のみを所持し其携帶せる郵便の革囊及び小包入の行囊は路傍の垣根に置きたりしが其配達を了りて右の革囊及び行囊を置きたる場所へ歸りしに二頭の牛ありて革囊と行囊の中に口を入れて在中の信書類を散亂せしめしを以て大いに驚き早速散亂せる總ての郵便物を拾得して囊中に納めたりしが間もなく二通の書留郵便物の紛失せるを知り其附近を隈なく搜索せしに遂に見當らざりしかば恐らくは右二頭の牛が書留郵便物を食ひしものならんとて其旨監督官に報告したり監督官思へらく右の集配人は恐らくは他の場所にて書留を亡失したるものならんと種々調査せしも集配人の言を僞りなりと斷言し得ざりしかば種々研究の結果書留を食ひたりと云ふ疑ある一頭の牛を連れ來りて六通の信書を封入せる椰子製の囊の中に口を入れしめしが右二頭の牛は何れも各々一通の信書を口中に入れ遂に之れを食したるを以て初めて集配人の言の僞りならざりしことを知れりと云ふ

▲電話交換手と耳の聽力　内地某局にての實驗に依れば普通人の耳の聽力は左右同じからず多くの人は右の耳の方大にして且つ聽力鋭敏なりと雖も電話交換手は從事者何れも左耳を使用するを以て左耳の方聽力鋭敏となるのみならず右耳は之れを使用せざるも聽力減退することなく左耳の鋭敏となると共に又鋭敏となるものなりと云ふ左れば交換手は勤續年限永きときは聽力は益々大なるものと云ふを得べし又電話に從事せる女子書記の心理は何れも敏活にして腦神經衰弱の疾患に罹れるもの殆んど之れなく且つ其職務は腦に惡影響なしとは内地某局にての實驗せる所なりとのことなり（某遞信課長談）

書畫の落款と刀銘（一）

片岡鶴泉

書畫の落款、即ち自己の作品に名を署し印を押すこと、鍛工が自己の作刀に銘を刻することは殆んど同一意義なり、從つて書畫の落款と刀銘の眞僞如何に就ても略似たる點多きを以て、之れが鑑別上の着眼方法等も又相似たる點なきにあらず、故に兩者の比較研究は、鑑識眼を向上せしむる一の捷徑たるを信ず、予の眼に映じ來れる、僞作書畫と僞銘刀は其數夥しく、其が毒牙にかゝる者多く、遂に菲才淺見を省みず文を草するの動機をなしたり。所謂道の先覺諸賢、幸ひに微衷の足らざる點を補ひ賜らば、幸之に過ぎず、又一般愛好家の爲めには損害を防ぐの一助ともなり得んか。凡そ書畫刀劍の眞僞を判斷することの、至難事たるは云ふまでもなく、之れが鑑識の具眼家たるには永年の間最も辛き失敗の經驗、或は數萬金を投擲せし結果たる場合多く、彼の自己が天才を發揮し、特殊的研究に得たるもの甚だ稀なるを見る。然して今の自稱鑑定家たる者、所謂鑑定の秘訣は、容易に洩らすべからずと云ふも、我等の考へを以てせば、邦家の爲め美術の研究發展を期するに於て何の秘密か之あらん、乃ち各自得たる經驗の發表は、取りも直さず初心者の鑑を益すると同時に、奸商の跋扈を防ぐことゝなるべし。先づ落款のことより述べんに、元來書畫の眞否を判斷するに當つて、先初より落款を吟味するが如きは、抑も初心者の懸念に過ぎず、何となれば、掛物全體の外裝と、夫を入れし箱を一見すれば、眞に古い物か、否新しい物かは、直ちに識別の付くものなり。況んや掛物を披きて、其の半ばに至らずとも、畫面の樹石雲煙、樹葉人物等の一端を瞥見すれば、早既に之れは何派に屬し、將た南北何れの邊にして、其が時代の如何位を、直覺し得べき筈なるが、此の會得なしとて、直ちに初心者を責むべきにもあらず、然りながら落款や印章も書畫の一部分なれば、相當修養を積むの要あるべし。

財界の新舊人（二）

西海生

久保要藏君（中）

久保君は群馬縣の出生、在鮮縣人の首位に推されてゐる、廿九年東京法科大學を卒業し、官吏を志して同年直ちに高等文官試驗に登第した時に年漸く廿有二の白面、當時東京の新聞に稀なる秀才として謳はれたさうである、官歴の振り出しは大藏屬で、翌三十年には既に司税官に任ぜられ、爾來約十餘年、大藏省系統の地方官廳に歴任した、明治四十年滿鐵設立の事あり、後藤新總裁により大に天下の人材を會社に招聘するや、君亦秋田鑛務局長在官の儘招かれて同社調査役として入社した

▲君の庶務課長に就任したのは明治四十四年である、その後京涉局の課長も兼たが、本職としては一昨秋川村調査課長と共に重役の選に入るまで、前後七年間尨大な滿鐵の庶務課長を勤めぬいてゐる、昨年一月滿鐵の職制は更まつて君の課長たりし庶務課は人事課と文書課に二分され、然もその人事課長には香役之れに當る事となつた此點より見るも君の久しく主管したる庶務課が、如何に滿鐵に於て重要な椅子であつたかを知るに足る、そこでも君はよく立案し、よく捌く好評ある課長であつた、毎日々々勤務に逐はれつゝ、尚ほ且つ有名無名の訪客數十名を接見して行つた、何人に對しても君はその透徹せる理智と獨特の愛嬌とを以て應酬し、訪客の要求希望に對しては必ずしも滿足を與へざるに拘らず、君と話て歸る者の頭にはドこまでも好感情を殘してゐたらしい、凡物でないと云ふ君に對する評は口惡な新聞記者連の間にも定められてゐたものだ。

▲滿鮮鐵道の統一問題起るや、君は國澤副總裁と共に數同來鮮し、總督府當局と接衝の任に當つた、此の時より君が滿鐵を代表して來鮮すべしとの期待は消息通の間に致されてゐた、何故ならば對總督府の各種交渉は悉く君の方寸より出てゐると認められ、更に當時の滿鐵重役中には鮮鐵經營の大任を背負ふに足る程の適材は見當らない、乃ち地方部長の改野耕三君、鑛業部長の樺山資英君、經理部長の佃一豫君、交涉局長の川上俊彦君皆然り、唯鐵道部長の藤田虎力君説は稍有力なやうであつたが、當時君は山東鐵道部長として任に青島にあり、各種の事情は君の鮮任を許さなかつたらしい、乃でこれはどうしても久保君の理事陞任になる段取だと觀取されてゐたからである

▲大正六年七月三十一日倂鐵成立するや、滿鐵京管局長職は横井事課長その事務を取扱ふ事となつた、然し横井君は温良の一技師に過ぎず、又その器でもない、横井君の事務取扱ひはホン過渡期に於ける繋ぎであつた、果然九月に入つて君の理事任命あり、その翌月三線運賃問題やその他で、從來常に競爭者たり又商敵であり、更に心の知れぬ連中の寄合である朝鮮鐵道の本陣に据わつて釆配を振るべく、君は一人の乾兒をも連れず、全く丸腰の儘、例の如くニコ〱然として乘込んで來た、これは中村都督が製鐵所長官を辭して滿鐵總裁に就任した時、一人の腹心をも連れなかつた故智を學びしものであらうと云ふ人もある、然しそんな詮索はどうでもよい、そこに君は凡常ならぬ勇氣と決心を見せたのである

賦得朝晴雪

高野竹隱

萬戶雞聲曉。天街霽雪晴。煙生鳷鵲觀。春入鳳凰城。陰散乾霄碧。光浮背日明。山河分紫氣。松柏帶瑤英。四海歸初息。三推藉可耕。東風催解凍。南畝待歸兵。聖德仍申日。臣心敢比清。

坂田九峯

凶年有主者。獻瑞頌升年。時雪當元日。休徵見聖應。色含初日照。氣豆九霄澄。玉璣偏宜麥。丹管似與殺。萬邦初弭戰。聖德頌年豐。

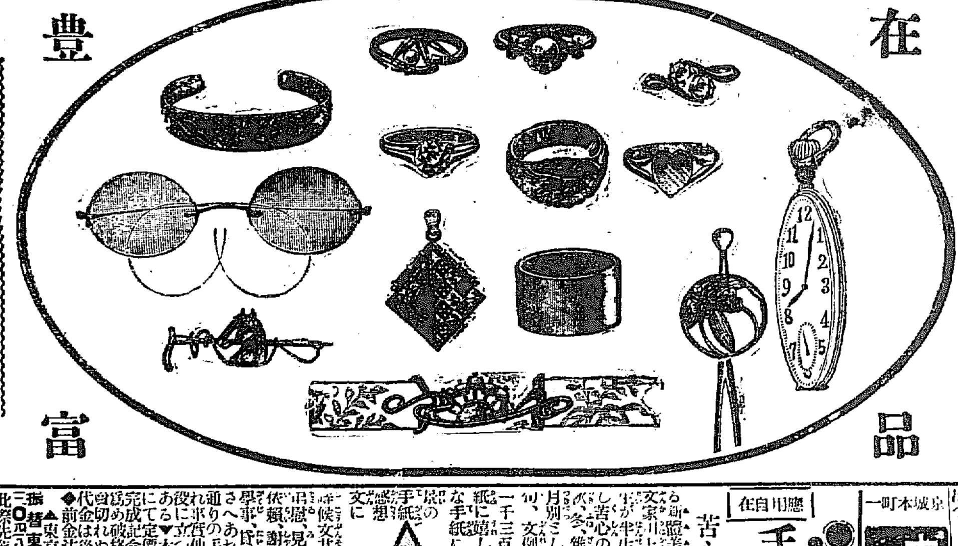
雜誌抄

◇日本人の禮服（竹尻氏）

禮服は西洋は以て何便にして例へば燕尾服、シルクハット、フロツクコート、ホワイトシャツ、カラー其他附屬の裝飾品の如き到底普通ハ家庭にては製作し得ざるものなり、元來今日の如き禮服を用ひたる初めは吾人の先輩が歐洲から得たる結果、鹿鳴館時代に無論自ら是非を判斷せざるときに初めて[illegible]しものにして決して深き修めあるものに非ず、故に日本の禮服は之を一服の外に之を家庭にて造り得らるべく紋付羽織袴の如きを採らんことを主張す（下略）

本紙定價（一箇月金七十五錢▲郵税共六箇月金四圓二十錢▲[illegible]）廣告料金（五號活字一行一圓▲[illegible]）
京城太平通一丁目　發行所　合資會社京城日報社
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
電話番號（[illegible]）

在品　豐富



村木時計舖京城支店（電話四七一番 振替京城三一九〇番）

來る十五日より十七日迄三日間棚卸に付臨時休業仕候

◎一月號　面白い新漫畫滿載　新案手工附錄付　一冊十五錢五厘（税共）六冊八十五錢
文學士寺田精一先生監修
幼女畫報
トモダチ
◎二月號　教育的繪雜誌　美事な附錄付　一冊十一錢五厘　六冊六十五錢（共税）
東京九段一葉社　振替東京二二六二番

新年號發展せる
書道及畫道
前田默鳳・川谷尚亭・其他漢字假名の諸大家　書畫の模範的月刊雜誌
手本四頁　古今名寫眞八頁外▲七大懸賞募集
▲毎月一日發行　定價一冊十五錢　一年分前金三圓九十錢
東京神田錦町一ノ十六　發行所　二松堂

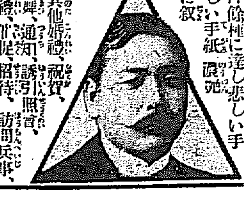
鶏之日本
愛知縣農事試驗場鶏試驗成績を中心として指導を重んじ実際を報ず　半年八十錢一年一圓五十錢　愛知縣[illegible]　養鶏協會

最新刊
[illegible]

丈夫で安い實用靴

見落す勿れ
ボックス革製　編上乙四圓四十錢　甲五圓四十錢　深ゴム乙四圓七十錢　甲五圓七十錢　半靴乙三圓九十錢　甲四圓九十錢
御注文の節は足袋文數を御申越あれば代金引換小包にて送る
東京牛込若松町六〇　ツブク靴店　振替東京四三八八四番

世界的　新製品出づ
結氷のシーズンに水上に街上に最も滑走の妙を得る
ハンドサイクル
安全にして輕快壯捷なり　定價五圓　送料要實費
京城本町一丁目　大阪屋號　電話二八七番　振替京城二五七番

◎好評如湧　忽卅版
手紙文庫
苦心の大著　今回完成せる

新體美文手紙文庫は有名なる文家山田宮山先生が半生の心血を傾倒して完成せし苦心の大著にして全卷を春、夏、秋、冬、雜の五卷に別ち各卷を更に月別とし其月々に必要なる用語、類句、文例を漏れなく集め其數實に一千三百餘種に達し悲しい手紙に嬉しい手紙に叙景の手紙に感想文に
◆代價　特價一圓十八錢
東京市青山南町六ノ一三五　手紙文庫刊行會　振替東京一〇八八六
書翰文用語集　添付進呈

第七十一回　日本勸業銀行　勸業債券賣出

等級	金額	自初回至三回目毎回	四回目以後毎回
一等	二千圓	二十本	十本
二等	百圓	五百本	五十本
三等	十圓	八百本	四百六十本
四等	五圓	一千八百八十本	九百八十本
計		三千本	一千五百本

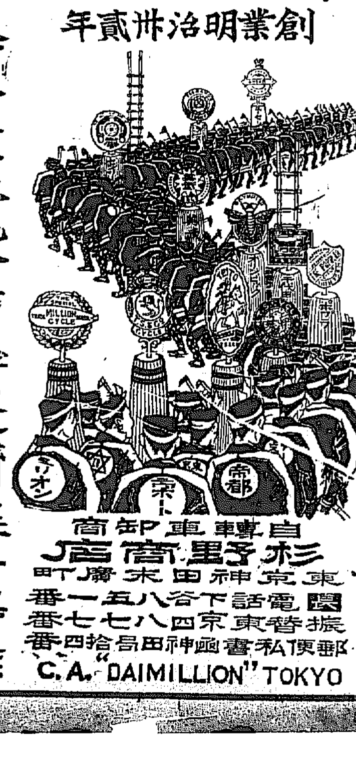
割増金（十組分）

一枚拾圓券　利子年四分　毎年四月拂

◎賣出　一月十五日より同月二十八日まで本支店にて賣出す
◎くじびき（十一月）初回は本年三月以後參備年は年三回（三、七、十一月）其後は年二回（三、九月）同額割增金を添付しからくじなし

◎期間内何時賣切れとなるやも知れず可成早目に御購入あれ
◎本行より直接に債券の郵送を要せらるゝ向は通數の多少に不拘債券代金の外郵送料として金拾錢也御送附ありたし

京城　朝鮮殖産銀行
支店所在地　開城、南州、忠州、公州、鳥致院、大田、論山、江陵、全州、裡里、井邑、金堤、南原、光州、木浦、麗水、松汀浦、榮山浦、濟州島、大邱、浦項、金泉、尙州、金山、馬山、統營、晉州、海州、沙里院、平壤、鎭南浦、安州、義州、新義州、咸興、元山、清津、城津、會寧、北青、羅南、江界、春川、鏡城
●朝鮮殖産銀行本支店は債券所持者の御便利を計り勸業債券を擔保として貸付を致します

江戶の花名物　創業明治卅貳年
東京製自轉車に依て絶大なる信用を博し交通機關の公益を計り被下度候
新たに開業の御方又自轉車御營業の方へ（登録意匠）


自轉車卸商　杉野商店
東京神田末廣町
電話下谷一五八一番
振替東京四七七八番
郵便私書函神田局第四拾四番
C.A. "DAIMILLION" TOKYO

謹賀新年

本年劈頭の致富策としては先づ所藏の勸業債券を利用することに心付かれよ
◎本社は例に依り債券の信託を受け最も堅實なる利殖法に依り多額の利益を割當てつゝあり、前期配當は年五割強に相當せり
◎本社業務の有利確實なるは年來の信託者諸賢の知悉せらるゝ處、配當毎に堆積せる信託者よりの謝狀は偶々本社の隆盛を證して餘りあるもの希くは現況に就き來り見て
◎債券所持者は明日と云はず今スグ本社債券利殖引受の詳細を極められ以て利福を得られんこと
債券信託業元祖　合資會社　勸業債券信託社
大阪市北區堂島濱通一丁目廿八番地　電話北一五九〇番　振替大阪四六〇一番
●端書御申込次第詳細書送る

EUKIRIN
神經衰弱特效
ユーキリン
本品ハ營養ヲ增進シ神經衰耗ヲ補フヲ以テ神經衰弱。陰萎。營養不良。結核諸症。腺病。重病回復期ニ適ス
本品ハ帝國大學教授本邦蛋白化學ノ泰斗タル鈴木博士創製ノ吸收性同化性燐劑ナリ
粉末　二五瓦入　金七拾五錢　錠劑　百錠入　金八拾錢
說明書アリ進呈ス　各地有名藥店ニテ販賣ス
東京室町　三共株式會社

▲外見を飾る必要
[illegible]他人の悉くが外套を着するが故に自分も着けねばならぬと云ふが[illegible]はずつて勤交代の砌さる大名の[illegible]供したいと考ふるのである十錢外套を[illegible]兎に角[illegible]外套を廢止するに至ること[illegible]で[illegible]非川を裸體にて渡る昇夫あるを[illegible]違ないがこゝに於て我衆は世人[illegible]に對して最も簡單な十錢外套を提[illegible]

▲徒らに墮弱の風に
[illegible]厚くなるべきものなるに[illegible]のみ染みて青年等の小學生は多く[illegible]

◇英國案採用か

國際聯盟に就ては結局英國案採用さる可しとの觀念增大しつゝあり從つて右聯盟は絶大なるものとし獨逸をも參加せしむる事となる可しと觀察さる（巴里電報）

◇英首相等巴里へ

英首相ロイドジョージ、藏相ボナロー兩氏は聯合國政府首班者の豫備會議に出席の爲め十一日午前巴里に向け出發せり（倫敦電報）

◇ウ氏と我講和委員

米國大統領ウイルソン氏は近く日本講和委員を訪ひ公式の會見をなす可し（巴里電報）

◇ス團首領殺害説

合同通信電報＝獨逸スパルタカス團首領リーブクネヒトは殺害されたりと傳へらる（東京至急電報）

◇獨逸兵員解散

伯林來電＝獨逸國民兵戰時後備兵解散せられたる旨公表せらる（アムステルダム電報）

◇伯林占領説否認

頃來米國軍伯林占領の風説ありしも米國政府は伯林に軍隊を送る計畫を抱き居らずと（倫敦電報）

◇獨逸諸工場休業

革命運動の結果獨逸全部に於る諸工場は總て休業し居れり（倫敦電報）

◇過派軍リガ占領

過激派はリガを占領し目下激烈なる市街戰開始されつつあり（倫敦電報）

◇巴爾幹形勢險惡

巴爾幹の形勢は食物缺乏の爲め依然として險惡を呈しつつあり（倫敦電報）

◇米露の需給契約

米國は雜穀、藥品其他工業品約九十萬噸を安價に露國に供給す可く西伯利市場は米國に原料品を提供し米國は農業機械を提供する約成れりと（哈爾賓電報）

◇米仲仕業者復業

紐育にて同盟罷業を爲せる仲仕業者は調停仲裁に應じたり（倫敦電報）

◇支那内閣員任命

大總統は一旦内閣員の辭職を聽許し國會の同意を得て改めて閣員を任命せり尚張懷芝氏は參謀總長に任命さる（北京特電）

◇渡邊子辭職説

渡邊千秋子は臨時帝室編修局顧問を辭職す可しとの説あり（東京特電）

■御慰勞宴

天皇陛下には十三日正午東伏見宮依仁親王殿下並に職員一同御慰勞の爲め豐明殿の午餐に召され聯合國大公使原首相以下にも御陪食仰附けられ　陛下には陸軍儀式通常服にて出御遊ばされるやに拜承す（東京特電）

◇未成年禁酒法案不提出

政府は今期議會に於て未成年者禁酒法案は提出せざることに決定せり（東京電報）

○精神的施設を爲せ

[illegible]設を講じ彼等土著民との融和を計るを云ふことが最も肝要なることゝ[illegible]何にも遠大な考へより精神的に土著し以て帝國の對西伯利政策の一としたのであるが今日として考ふて[illegible]ならば左迄の必要はなくなつて邦人を他方に於て十萬民を救濟するならば赤十字社事業の博愛精神[illegible]旨を貫徹するの意味ともなるので[illegible]

◎佛國造船計畫

佛國は開戰前即ち千九百十四年七月には二百卅二萬噸の船舶を有し日本に次ぎ世界の第六位にありしも開戰後は狂暴なる獨逸潛水艇其他海難のため約八十八萬噸を喪失せるため英國より六十萬噸の補助を受け船腹の不足を補充し來りしが最近外電の報ずる處に依れば今回同國政府は戰後之が海運の恢復を計ると共に將來戰の活躍を爲さんが爲め商船大建造の計畫を樹て五箇年繼續にて六百萬噸（多分現在のものを合せしものならん）の建造費八億圓を議會に要求し下院通過の見込ありとのことなるが愈無事議會の協贊を經るに至らば直ちに建造に着手することとなるべきも現在佛國にては一箇年約二十萬噸の造船力を有するに過ぎざるを以て之が改善增設を行ふも斯る多數の船舶建造は不可能なるべきを以て英米兩國に託して建造せしむるか又は讓渡を受くることとなるべしと

◇立神丸傭船

東上中の松崎朝郵專務より十二日夜元山出張所への來電に據れば目下御用船たる立神丸（二千五百十一噸）を傭船方交渉成立せるを以て右御用船の解雇あり次第廻航し同船を横斷航路に使用する事に決せりと（元山特電）

◇元山の滯貨

元山に於ける横斷航路の滯貨は五千噸に及べり（元山特電）

○朝鮮米增收策
斯くせば一千萬石を增さん

▲水利可能面積　朝鮮に於ける現在の水田總面積は土地調査の結果百五十萬町步と定まりしが内現に水利の設備あるものは堤堰に依り灌漑するもの二十六萬三千町步水利組合事業により灌漑するもの二萬七千町步個人の水利事業に依り灌漑するもの五千餘町步合計卅萬町步なれば他の百廿萬町步は水利設備を有せず全然天水に依りつゝある譯なり然もその内水利設備をなし得べき面積を約三分の一と假定せば約四十萬町步にして爾餘の三分の二即ち約八十萬町步は河川の整理に伴なふべきものと云ふを適當とすべし

▲水田開墾見當　山林及び原野の可耕の面積は現下の所概算七十二萬町步なるべく又畑の面積は二百九十萬町步と見れば大過なし而して右の内開墾又は地目を變換して水田と爲し得べきもの兩者の總面積三百六十二萬町步の約一割とせば乃ち三十五萬町步を得べく又干潟地の總面積二十一萬町步河道の荒蕪地の面積七萬町步此の兩者の合計面積廿八萬町步内水田に開墾し得べき面積は少くとも十五萬町步を下らざるべし以上を綜合し將來擴張し得べき水田の總面積は約五十萬町步となる可し

▲米種の改良　大正六年度に於ける水稻優良品種の普及反別は六十五萬町步に達し現在灌漑設備ある水田面積卅萬町步の二倍にして水田百五十萬町步の四割に達し居れり從つて今後は水利事業の急速なる進捗を見ざる以上は優良品種の普及及び面積の急激なる增加を望み難く從つて今後稻種の改良に基づく產米の增殖も亦多きを望み難し尤も當局に於ては優良種の更新及び旱魃水田に栽培するに適當なる新優良種の發見に努めつつある如し

▲金肥の獎勵　播種耕耘除草肥料の施用等栽培法の改良は現に當局の獎勵する所たり就中肥料の施用に就ては農民も亦漸次その效果を認識するに至れりと雖も現在當局の獎勵は主として堆肥及び綠肥等の自給肥料に止まる、更に進んで金肥の施用を併せ獎勵するを急務とすべし朝鮮の水田に於ける金肥施用の效果に就ては内地に於ける水田の金肥施用と同程度の效果ある事は總督府及び移住内地人農業者の試驗又は實施により明に證せらるゝ所なるも鮮農に對する獎勵としてはその效果の確實を期するため先以て現在水利設備ある水田に對し之れを施用するを適當とすべし

▲千萬石增收　前各項の調査の結果を綜合すると此等の施設を遂行完了の曉には約一千萬石の產米增加を見現在產米總額一千二百萬石を將來二千二百萬石に達せしむる事を得べし乃ち（一）現在水利既成水田金肥施用による三十萬町步の增產反當り增收七斗とし見込み二百十萬石（二）將來水利設備をなし得べきもの改良水田四十萬町步の增產反當り增收七斗とし見込み二百八十萬石（三）開墾水田五十萬町步反當り收穫一石とし五百萬石合計九百九十萬石となる計算なり

○改良蠶種の普及

總督府に於ては逐年繭產額の增加と共に内地との繭の取引盛んとなれるに品種の不揃なるより取引上不利を招く事多きより品種の整一を獎勵しつゝあるが昨年に於ける蠶の獎勵新品種は掃立枚數五萬一千百十二枚其の繭產額一萬六千五百七十一石にして蠶種總掃立枚數に於て其の一割二分繭產額に於て一割七分を示し更に獎勵新品種中繭色の黄白に依り蠶種普及步合を見るに黄繭種七割三分白繭種二割七分にして蠶種一枚の收繭量は黄繭種三斗二升四合白繭種三斗二升九合なり今各道別に就き掃立枚數を示せば左の如し

道別	黄繭種	白繭種	合計
京畿	一、四三三	一、五一七	二、九五〇
忠北	二三四	—	二三四
忠南	三、八二一	五四〇	四、三六一
全北	一五四	七九	二三三
全南	五六六	一九九	七六五
慶北	三、九六八	六、二三三	一〇、二〇一
慶南	一、三五三	一二七	一、四八〇
黄海	一、四四八	四四九	一、八九七
平南	二〇、三九三	一、四四〇	二一、八三三
平北	一、八〇〇	八四四	二、六四四
江原	一、三三二	五六二	一、八九四
咸南	一、一九一	六七六	一、八六七
合計	三七、三七九	一三、七三三	五一、一一二

○株式暴落影響
市中思惑熱收縮

京城に於ける現株の賣買は市況の活況を來し財力の膨脹するに伴ない思惑熱盛んとなり漸次增加し行く實狀にあり昨年後半期に於ては一月の賣買四千株を下らずとの見當にてその仲買店の如き市中三四店を算し居れるが株式界は新年初相場以來暴落に瀕し之に暴落を以て主として京城に賣買せらるゝ京阪取引所株大阪商株の如き舊株の納會市場に比し彼是十五六圓乃至二十六七圓の激落を來し又京城所株の如き五十圓臺にて入手せしもの多きに不拘昨今は株界の不況並に同取引所不振のため三十三圓に激落し居るの狀態にあり居らば這間の如き暴落に際會する等の株式も全く買人に於て引取るも又その値上を待つも可なれども其の多くは二割乃至三割の頭金を出し買附けを仲買店に依頼し金融を銀行若くば其の他に求め居れるため昨今の如き激落に際會しては自然追金の徵收を受くるに至り苦境に陷れる者少からず斯界は近來甚だしき窮境を呈し居れりと

○機關車到著

滿鐵京城管理局に於ては六年度下半期運輸擴張として機關車三十三輛の新造を計畫し沙河口工場に九輛米國に二十四輛の新造を依頼したりしが沙河口工場よりは客月二輛到著し尚本月四輛到著の豫定にして米國に註文の分は既に十二輛竣工せるを以て今月十五日ニューオルランスを積出すべき通知ありたるにより二月中旬中には到著すべく更に殘りの十二輛も來月中旬同港を積出すべしとの事なれば三月中旬中には之亦到著すべしと

◇憲政會方針決定
第四十一議會に對する

憲政會は最高幹部會を開きたる結果第四十一議會に對する態度を決定せり大方針は依然として米價問題、教育問題、選擧權擴張及び國防問題に就き内閣に肉迫する筈なりと（東京電報）

◎輕鐵補助法律案
今期議會提出＝當局の説明

今期議會に於て協贊を經べき朝鮮關係の法律案中朝鮮輕便鐵道補助の件に就き當局の説明する所に依れば朝鮮の產業開發[illegible]の爲朝鮮内に民間出資に依る輕便鐵道を敷設せしむる[illegible]

△輕便鐵道敷設は　大に歡迎する處にして當局に於ても之れが助成の方針として年々投資額に對し年七分の利廻りに對する額に對し年七分の補給を爲しつゝありしが此の補給を爲すは年々の豫算に於て輕鐵の補助金を計上するものにして法律に依つて定められたるものにあらず或は不成立に終り或は削減さるゝ事のありたる場合は

△折角民間の計畫　に對しても如何とも援助の方法を講ずる能はざるの狀態にありたり[illegible]に又民間投資家に於ても補給を得るものと信ずるも或は如何なる當局の意向に依て補給を得られざるに至るやも知れずとて計畫を躊躇する者[illegible]

△過去五年間補助　の[illegible]は從來内規に依りしものと大差無く年七分の利廻りに達する迄即ち會社に五分の利益ある時は二分を補給し會社の利益なき場合は七分の全額を補給するものにして缺損は補給せられざるものなり

年頭に立ちて（八）
▼列強の經濟的競爭時代に入る（上）
朝鮮銀行理事　片山繁雄氏談

戰爭は濟んだ、今後の世界は列強の經濟的競爭努力必ず激甚を加ふべしと思はるゝのであるから、帝國の經濟政策も世界的にその經驗を觀て之れを立て之れを運用して行かねば劣敗者として遂に取り殘さるゝ事となるのであらう、此點に於て予は政府並に民間が所謂擧國一致の大決心を以て此の多事多忙而して極めて重要時代に棹して行かん事を切望する、年頭に際し右の問題に付少しく愚見を開陳しよう

▲英國では　既に一昨年戰亂の闌なりし時代よりレコンストラクション、ミンストリー乃ち戰後經營者なるものを設け適任者を朝野に物色して之れに充てた、有名なるドクトル、アデソン氏の如き事務大臣なりしも首相のロイド、ジョージ氏は特に之を戰後經營に轉ぜしめ大に戰後の經營にその能力を注がしむる事となつた、更に例せば通貨とか爲替とかの問題に就ては銀行家中の有能者を擧げて各種の問題を調査せしめ又海外貿易に就ては海外貿易局の如きを設けその方の堪能なる人を選んで方策を研究してゐる、いかに英國首相の決心の強いかと云ふ事は去年の十一月の中旬議會を解散し總選擧を行はんとせし際ロイド、ジョージ氏の表明した演説に見るも知るに十分で戰後の

▲財政策樹立　に對する英國上下の意氣込みは實に非常のものである、英國では今後に於て如何なる方策を執るかと云ふに恐らく根本問題としては擧國一致内閣の政策を遂行して行く、乃ち政黨政派の觀念を全く去つて事に當る事にならうと思ふのである、英國でも一部論者の内には夙くも戰爭が終了したから今後は政派の競爭時代に戻り又復紛糾が來すべしと解してゐる者もある、去りながら予は英國現下の實情より觀察し斷じて然らずと見てゐるのである、今後の英國は──少くも戰後經營時代の英國は黨爭に超然としすべての黨派の行き掛りや感情問題をすてたる如くなり、戰後は或は戰時中よりも永く擧國一致の政策を執つて行くかも知れぬと思ふ

▲總選擧の結果　に見るも現内閣の與黨たる聯立派の大捷となり如何に英國民が確乎不拔の決心を以て團結しロイド、ジョージ氏の擧國一致内閣の政策に裏書し之れを支持せんとするの決心を表明したかを見るに十分である、茲に於て戰後に於ける英國の經濟政策はどうなるかと云ふ問題に打突かる譯であるが、予の觀る所によれば貿易上の關係に於ては、保護とか自由とか云ふ如き名目上の爭ひは必ずしも八釜しくないであらう唯問題によりそれが國家の目的に適へば自由にもし或は保護もするであらう、要するに實際の結果を見て決定するに相違はない、自由策によるか保護政策によるかの如き一方に偏して終ふよりも結局

▲問題の利害　得喪を考へて英國の國權を擴張し又その市場を獲得すればその有利な方に傾いた方がよいからである

◎地査委員會

高等土地調査委員會にては十三日午後二時より總督府第一會議室にて第三部會を開けり

◎五島博士講演

十三日午後四時三十分より龍山鐵道俱樂部に於て五島理學博士の生物學に就ての講演ありたるが後十七日迄同所に於て講演すべく聽講者は目下鐵道關係者其他約百名なり

◎鐵道學校職員

今回龍山鐵道用地構内（總督官邸の裏山公園の向ひ）に設立せらるべき鐵道學校々長は當然久保局長其の任に當るべく教員の大部は職員を以て之れに充つべきが理想の教育をなす目的だけに任命監には其の人材を得べく目下物色中なりと

◎東拓社員派遣

東拓にては第十回移民來月より渡航しくるを以て各種の用を辨ぜしむる爲近く社員を釜山に出張せしむる由

◎醫專生徒募集

京城醫學專門學校にては本年四月第一學年に入學せしむべき生徒本科七十人特別醫學科三十人の生徒募集を爲したが入學資格は（一）本科　高等普通學校を卒業したる者又は之と同等以上の學力を有する者（二）特別醫學科　朝鮮總督府中學校を卒業したる者及公私立中學校を卒業したる者專門學校入學者檢定試驗に合格したる者第八條第一項の指定を受けたる者は大正八年三月末日迄に前記の學校を卒業すべき見込あることを當該學校長に於て證明したる者但し右期限内に卒業せざるときは入學を許可せず尚右の外詳細なる事項は同校に就きて承合するを便宜とす

扶餘より
大町桂月

野津大尉の案内にて仁政殿の奥深く拜觀し秘園の所謂三百尺の大巖を眺め閼伽の碑を拜し牛耳洞に參詣し碧蹄館を訪ひ申候更に加藤灌覺氏の案内にて高麗の故都なる開城を訪ふ、轉じて百濟の故都なる扶餘を訪ひ申候、思へば千三百年の昔、百濟は日本の援兵を借りたる新羅の爲めに打滅され申候、敗瓦なほ城跡より出で申候、五重の石塔は唐將に利用せられ平濟碑となりし一將の碑や麥秀む（一月十一日）

人事消息

▲久保田檢藏（鮮銀哈爾賓支店長）十三日入城不知火へ
▲谷陸軍大尉　十三日朝入城
▲深尾黄海道第一部長　十四日朝退城

◎大塚參謀歸任　承司令部參謀大塚少佐は北鮮地方視察中の處十四日夜歸任すべし

◇鳥瞰録◇

京城商業會議所で募つてゐた事業計畫募集案は結局數に於て多くないが比較的良い面目のものを含んでゐるとの事▲懸賞の好い奴を撥ようと云ふのは求めの懸賞で、五十萬圓以上の事業計畫だが、百圓やそこらの端た金の備ものに無理があらう▲一證五十萬圓以上の會社と云へば朝鮮にも多くはない、内地では小會社だが、朝鮮では少くも中會社だ▲その中會社の計畫を立てようとするのには、二百や三百の金はすぐに要つて終ふではないか▲會議所理事者が百圓でつゝるものと思つてゐたのならば、海老鯛以上の期待と云はねばなるまい▲豫算の關係をすぐ云ひ出すかも知れぬがなぜ今少し奮發して少くも五百なり千なりの金を出し之れを募らぬのか、それで好い案を得られゝば安いものではないかとはある會社の重役のはなしである▲東拓が主となり、平壤で經營しようとするモンド瓦斯事業は、政府の補給がありさうな説ものつたが、事實はさうでないらしい▲平壤にモンド瓦斯を起し、安い動力をあの附近に供給する事となれば、平南地方の產業は餘程お蔭を受けようけれど、それが國家的事業かと云へば、直ちに然りとは答へられない▲從つて政府補給説は誤報だらうと云ふて東拓は内地第一流人士の發起になる會社だから政府の補給如何は問題とするに足らず、事業は堅い前途有望のものらしい

仁川期米

▲十三日後場　[illegible]

限	一節	二節	三節
[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

店員募集　年齢十七八歳ヨリ二十二三才マデノ内地人數名　京城黄金町一丁目　三巴京城支店　電話七五〇番

朝鮮總督府遞信局　購買　競爭入札　一月十四日ノ本府官報ニ在リ

白神洋行　鐵　鋼材　浪板、平板　針金、洋釘　ペイント、油類一切　コークス、セメント　耐火煉瓦、モルタル　スコツプ、シャブル　帶革、ロープ　機械、工具　附屬品　其他

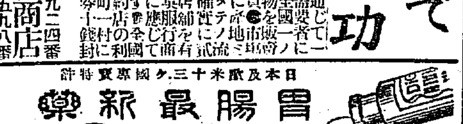
高等　メリヤスシャツ　二枚一組一圓五十錢

坂本商店　振替東京四二五九八番

吳服屋で大成功

漬物問屋　大阪市南區新地　全森内商店

冬の風引には　大學病院處方劑



食慾が進まない時に食慾を促す　元氣が衰へた時に活力を與ふ　貧血のものには血液を補給す

京日案内

醬油釀造所讓渡

看護婦募集

小兒科　賀化病院

機械係入用

内地人傭聘　高橋法律事務所

事務員招聘

外勤社員募集

外務社員招聘　西村商會

金細工職人募集　喜多金光堂

年金恩給　江州屋本店

百圓　りん病　ばい毒

帝國醫科大學

にせ物に御注意　大阪有田ドラッグ商會

云ふことは識者の夙に衝慮しつゝある所であるが其具體的方案は別として先づ彼地に對して精神的施 ふ風で目下の[illegible]充分の同情を表すると云ふことで彼等の遣り方はかくの如くして如 我病院を建設し醫事衛生の點より彼等に對して多大の同情厚意を 日本赤十字當時我赤十字社の病院班在二變ありて傷病兵派遣の爲貢獻（こゝに）[illegible]此の四百萬の[illegible]に取つて頗る[illegible]のである[illegible]日本赤十字あつて內地にのみ開設すべきではない、よろしくかゝる方面にかか社總督の病院を油頭に建設することゝ以て醫術の上より一方に於る規模の設備をなしてこそ其の本

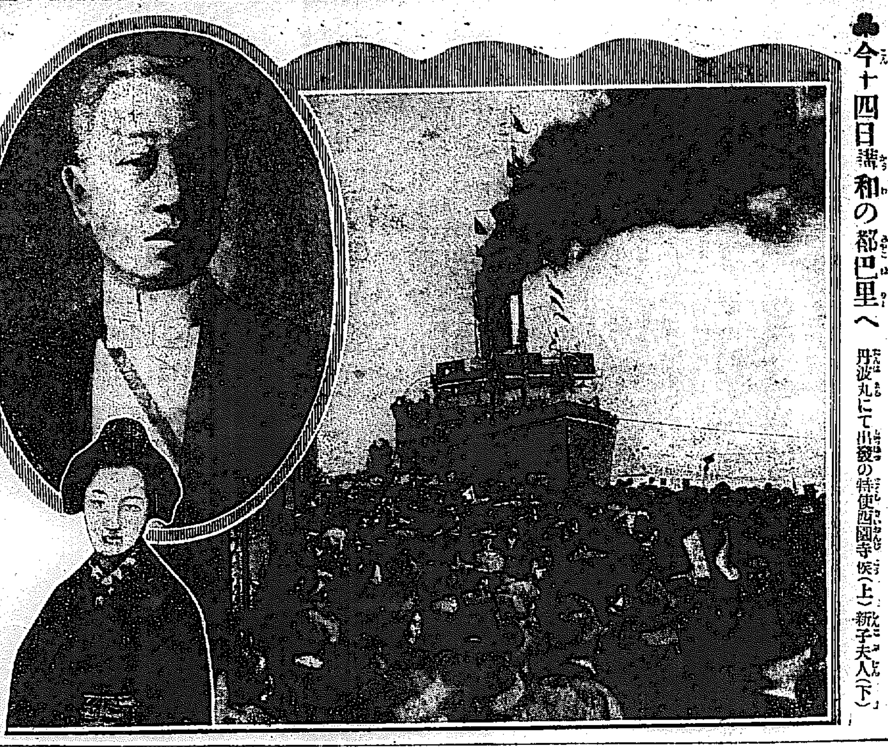
◎檣頭高く日章旗を揭げて……特使の船は巴里へ
新子夫人は佛蘭西では日本服　日本料理で各國委員に馳走

十四日わが光榮の講和特使西園寺侯爵一行を載せて神戶を解纜する丹波丸は在來のシャンルデッキ食堂上の最前部一等室左右二室を其閣下を夜合せて閣侯の船室に備へ右を寢室に左を談話室に充つる事とし一は平和の表象として室內の椅子や窓掛や敷物類に至るまで悉く翠色とし全部の裝飾は十三日中に終り十四日早朝には神戶港第一突堤に橫付となり特使の搭乘と共に丹波丸は日章旗を

◇特使旗 の代用として檣頭高く揭揚し賑々しく同船いよ〳〵瀨戶內海の風色を兩舷に錘めつゝ門司に向ひ上海香港スエズを經て一路平和の都巴里に向ふ筈にて侯一行中の女王として父大勳位と同行し巴里に咲く花の新子夫人は船中は洋裝上陸後は

◇日本服 と區別してあざやかな佛語で物慣れた態度振りを見せられる事であるから名門西園寺家の水際立つた外交振りがヴェルサイユを中心にかがやかに謳はれる事も遠くはないであらう尙侯は西に上陸巴里に入るやヴェルサイユの講和會議に列すべきウイルソン、ポアンカレーの二大統領以外各國の講和特使の首班者全部を網然たる

◇日本式 料理にて招待する事に決したり、丹波丸には之に要する器具一切を擧げて搭載し之が爲大灘萬の主人と仕友家の料理人を運行すと（神戶特報）



♣今十四日講和の都巴里へ　丹波丸にて出發の特使西園寺侯（上）新子夫人（下）

◎犠我大尉の遺骨　二月に所澤着

伊太利ミラノにて殉死せる犠我飛行大尉の遺骨は二月上旬所澤着四五日間飛行將校通夜を爲したる上飛行場に於て莊嚴なる葬儀を執行する由（所澤）

◎裝甲車　世田ケ谷で練習を開始した

昨冬に青山原頭に勇姿を現はして市民を驚かせる裝甲車は其後世田ヶ谷の陸軍自動車隊に姿を隱して居たが十三、十四、十五の三日間午前十時及び午後一時の二回宛世田ヶ谷の練兵場に於て水谷、佐指揮の下に再び其の巨姿を顯して練習する筈である（東京）

◎密漁者の橫死

慶北東海岸九龍浦居住の漁夫岸本の二男は去る三日ダイナマイトを使用して鯖を獲らんと企て同日午後四時頃鯖群目蒐けてダイナマイトを投下すべく導火線に點火したるが火は別の掌中に握りゐたるダイナマイトに移りて俄然爆發し全身大火傷を負ひ人事不省に陷りしが直に自宅に連込み種々手當を施したるも遂に絶命なり（九龍浦）

◎鐵原百萬長者高啓河の庶子　詐欺で有罪

鐵原の百萬長者高啓河の庶子高濟擁（一八）は遊蕩費を調達する爲同地朴容植外數名と協議の上鐵原面事務所書記李潤雨に事情を打ち明け高濟擁の民籍謄本に光武六年生であるを二年生れと訂正せしめて恰も丁年に達したるが如く裝ひ同人所有の土地を京畿道漣川郡旺澄面尹相俊に二千五百圓にて賣渡す約をなして內金五百圓を詐取せるを手始めに外二箇所に於て同樣の手段にて千圓を詐取して悉く遊興に費消せる事が發覺して捕へられ當地方法院檢事廷に於て取調中なりし詐欺取財事件は悉々豫審終結したるを以て來る廿二日公判開廷せらるべしと

口愛に死んだ須磨子の半面（下）
八圓の給料で間借生活
抱月氏は彼の女を擁して抱負に遊ばれた

彼後に須磨子は抱月氏を擒にした外套に深く入眼を包んだ抱月氏の痩た姿が其頃須磨子が間借して居た家の路地の中に夜毎の樣に見受けられた

藝術座の女王　抱月への愛人としての

彼女は漸く抱月氏を蔑視してゐるやうに見ゆることもあつた、ごうかして抱月氏と口論をした時などは平手で氏の橫面を毆つた事も珍らしくはなかつた、文藝協會時代には僅に八圓の給料で間借りの質素な生活をして居た須磨子も地位が高まると斯んなに橫暴に振舞ふこともあつた……或時一座の者が大阪の岸澤屋に泊つて居た時の事である、或る朝須磨子の寢て居る室の前で顏を洗ひながら男優の群が聲を合せて『雪の信州山家の猿が花のお江戶で芝居するキャツキャツ』と

◇最後の舞臺姿――カルメンに扮した須磨子――

騷がしく俗謠 を唄つた間より男優連

はた心なく唄つたのであるが須磨子は此の唄を聞くと甚だしく誇りを傷けられたやうな氣がして泣いて抱月氏に訴へたそして興行中の或る者は藝術座を追はれたのであつた、須磨子はやがて穢らしい大久保の借間から江戶川町の小やかな家に移つた而うして一人の老婆を置いた、須磨子に傾いた抱月氏の心は再び昔に復る日はなかつた、抱月氏は世間非難の的に立ち乍ら、遂に愛妻と七人の愛兒を捨て須磨子と同棲した抱月氏は

人一倍子煩惱 な人だつたさうである

その抱月氏が須磨子の爲めに家庭の破滅を招くに至る迄には恩愛と戀愛と藝術に對する信念が如何に劇しく氏の心を搔き亂したであらう？。須磨子は抱月氏を後楯にして兎も角も新劇壇の明星として仰がるるに至つた。抱月氏は須磨子を擁して兎も角も對世間の抱負の幾分を遂行することが出來た。二人はもう藝術的にも感情上にも引離すことの出來ない關係となつて居た。ところが昨年の十一月突然抱月氏の訃が傳へられた。世間は今更のやうに

文壇の巨人を 失つたことを悼んだ

須磨子の心には抱月氏に對する自分の過去の仕打が映畫のやうに繰返されたであらう。そして抱月氏に對する愛の償ひが足りなかつたことや我儘な過去の行爲が沁々と施まれて來た。愛に死なむか！藝術に生きむか！二箇月の間彼女はその何れを撰ぶべきかに迷つて居た。然し彼女は藝術に對する熱心の餘りすべての我儘を敢てして來たことを知つて居た。換言すれば彼女の藝術はその大部分を成されて居る。撰ぶべき道は愛の爲めの死であつた！（完）

◇櫻の新名所　天慶山　‖李王職の計畫で‖

京義線雞井驛から少し入ると帝釋山と相對して天慶山と云ふ海拔千八百尺の風景絶佳な山がある此山の周圍は城壁で圍まれて中には三つの寺院がある此處は高麗朝時代の隱家のあつた處で朝鮮一の稱ある瀑布のある處である此山は以前尹德永侯の所有であつたが其後李王職の所管になつてからは此山を大公園にしようと云ふ計畫を建て、內地から五萬本の吉野櫻と楓五萬本を取寄せて一面に植付けさせた櫻は昨年頃から那々花を持つ樣になつたので本年の春は定めて美事に咲き揃ふだらうとの事である

◎富士山大雪　山麓積雪六尺

九日未明より富士山上は稀有の大雪あり之が爲め吾戲り寒氣強く須走り口太郎坊附近は積雪六尺餘籠坂峠は四尺餘に及び驛中の連絡たる馬車鐵道は運轉を中止し雪掛け工事中なり（靜岡）

◎學生の心中　大阪灣で

尼ヶ崎汽船菊水丸（四千噸）は八日下關を出帆し中國諸港に立寄り讃岐高松を經て十日午前五時二十分神戶港を發し大阪に向ふ途中同六時五分頃三等船客二名海中に身投したるを船員が認め即刻汽艇を下して搜査したるも救助する能はず大阪埠頭に著し此旨水上署に屆出たるが身投せるは十七八歲の學生風の男女にて船室に遺留品として生マント及び書生下駄一足黑襟女用セル地コート女下駄一足黑漆せる他書遺樣の物無く作所氏名不詳目下八方に手當て中なり（大阪）

◎猛獸狩大會

全北務部の計畫にて猛獸狩大會を擧行すべく目下準備中なるが當日は全州在住の官民有志は擧つて參加すべしと

◎安東の火事　全燒一棟二戶

十二月午後四時頃安東縣市場通り二丁目材木商石崎菩吉方より出火全燒一棟二戶燒失せるが各消防隊官出動約三十分にて鎭火せり原因は煙突の不始末なりと人畜死傷なし損害は約三千圓の見込なり（安東特電）

◎王世子邸の侍女　金玉姬

王世子殿下附きに內定して以來宮內より學資の支給を受け目下私立同德女學校に通學中の金玉姬（一九）は愈々來年三月を以て卒業するに付卒業後は直ちに上京世子殿下邸に仕ふる事となれる由

◇金玉姬◇

◎永生女學校寄宿舍燒く

英國人マグレー氏の經營に係る咸興新昌里私立永生女學校は八日午後七時二十分其の寄宿舍溫突より火を出し折柄寄宿生十名は本夜の禮拜に赴き居たる爲一物をも出す能はず咸興警察署より署員並に消防組出動して防火に努めたるも同校は高臺に在る爲め水利不便にして遂に同舍一棟を燒失し九時漸く鎭火したるが原因は同舍の媬姆が溫突を焚きかけて薪取りに行ける不在中其焚口より出火したるものにて損害約二千圓の見込なりと（咸興）

◎鹿兒嶋の大火

鹿兒島市劇場鹿兒島座より十三日午前二時頃出火し五十三戶を燒失せり（鹿兒島電報）

◎鰊十萬尾

江原道襄陽津附近にて十一日鰊十萬尾の大漁ありたり（元山特電）

◎佛飛行家一行來る　仙波師團長以下の盛なる歡迎

佛國飛行將校フォール大佐以下一行は十三日午前八時郵船山城丸にて門司に入港し仙波師團長下關白水要塞司令官門司兩市長其他多數の者に迎へられ艀に分乘して一行乘船に至りて歡迎し指揮官フォール大佐と握手を爲し師團長は佛蘭西の最も榮譽ある戰捷を祝し殊に今回遠く態々我國に來られたる勞に對して衷心より感謝の意を表す旨歡迎の辭を述べ之に對しフォール大佐は全國皆國の術勝に感じ來りたる以上は吾々の飛行技術が何くの此の盛んなる歡迎を深謝すと述べ夫より一同三鞭の盃を擧げ互に談笑して平和の氣分を漲らし午前十一時佐藤發程し[illegible]門に向へり（門司特電）

東京大相撲　春場所二日目

東京大相撲二日目（十三日）の主なる勝負左の如し（東京特電）

勝		負
鬼鹿毛	（突き出し）	大岬
太刀光	（吊り出し）	大の里
八甲山	（吊り出し）	紀の川
達ケ矢	（突き倒し）	神力
矢筈山	（[illegible]出し）	綾川
宇都宮	（押し切り）	大戶平
白岩	（押し切り）	一湊
時津風	（寄り切り）	阿蘇嶽
駒泉	（突き出し）	紅葉川
三杉磯	（押し出し）	對馬洋
黑瀨川	（上手投げ）	九州山
千葉崎	（吊れ込み）	兩國
福柳	（寄り切り）	鳳
中入後		
友の浦	（押し倒し）	大の高
岩木山	（取つたり）	敷島
大潮	（作み）	大門岩
常の花	（上手投げ）	大鳴門
朝汐	（押し切り）	宮城山
栃木山	（寄り倒し）	清瀨川
藤の川	（寄り切り）	大錦

鬼鹿毛に大岬は激しく突き合ひ鬼鹿毛の懷を突き突き出して鬼の勝▲太刀光に大の里は突き合ひ左四つ光の掛け棄れを里は打ちやり打ち扇は里に上りしも司に落ち物言付きて預かり▲紀の川に八甲山は押し引き八甲高々と吊り出して勝▲神力に達の矢はガッシリと右四つに張り突倒して勝▲矢筈山に綾川は綾右手にて敵の首を巻き投げ打たんとし矢筈抱出して勝▲大戶平に宇都宮は突き返すや左を手繰つて泳がせ宇都宮双筈に押し切りて宇都の勝▲白岩に一湊は双筈に押し押し切りて勝▲阿蘇ケ嶽に時津風はバッタリ左四つ[illegible]手巡し引くや上手投げ打ち寄り切つて勝▲紅葉川に駒泉は駒苦もなく突出して勝▲三杉磯に源氏山は氏敵の出鼻を右に素首落しを試みし時三杉磯かゝりしも三杉に飛込み押し出して勝（以下夕刊）

▼休場力士 幕內休場力士は傷で休めり！張出し關脇[illegible]の外新關脇[illegible]、鬼、張[illegible]錦洋の外西山、小松山、逆鉾、上州山等にて大潮に大門岩は二日目を休場し

電話急至入用　八五五番へ

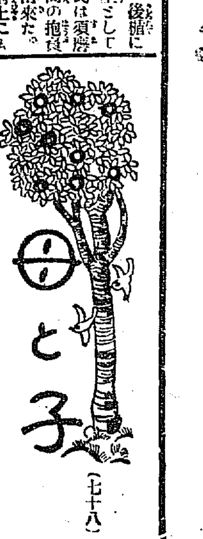
琴ケ浦は初日を休場せしも二日目より出場すべし

▼お斷り 三杉磯と對馬洋は押し出しにて三杉の勝となり居れども別電には春落しにて對馬の勝ちとあり何れが眞か何く記して後報を待たん

▼三日目取組 十四日（三日目）の取組左の如し

鬼鹿毛—長門洋　若葉山—大の里　大岬—八甲山
敷島—綾川　琴ケ浦—湊の矢　矢筈山—一湊
白岩—駒泉　大鳴門—福柳　清瀨川—兩國
大の高—宮城山　藤の川—常の花　[illegible]—朝潮
中入後
阿蘇ケ嶽—友の浦　若湊—宇都宮　千葉崎—源氏山
大戶平—對馬洋　紅葉川—栃木山　三杉磯—岩木山
大潮—九州山　鳳—大門岩

演藝
▲有樂館 十三日より[illegible]



母と子（七十八）
北島春石作　森田久畫

暖香園（二）

伊豆の大仁驛から迂餘曲折を極めた六里の山路を、乘合自動車で伊東まで揺られ通すのは、決して愉快な旅とは言はれぬが、光明ある希望を抱ける神崎昇一郎は、それが必ずしも苦にはならなかつた東京驛を出發する折、長距離電話をかけておいたので、旅館の暖香園へ行き著くと、その玄關先まで高松朔平が出迎へてゐた。

『や！御遠方のところをようこそ。』

『昨日中洲へお尋ね申したところ、貴方が兩三日前から此地へと承はり、實は避寒かた〴〵志保子さんの御病氣見舞を兼てお伺ひを。』

『それは何とも恐縮の至りでごわす……先程東京から電話をおかけ下すつたので、手前のみか娘までが、今かく〳〵とお待受けいたして居りました。』

『おゝ、志保子さんまでが……』

と、昇一郎は斯る遠路のところをわざ〳〵病氣見舞に出かけし甲斐もあつたりと打喜びつゝ、朔平の案內で奥まつた一室へと打通る。

もう後五日で新らしい年を迎へると云ふ師走の二十七日、こゝに一大修羅場を現出したやう、都會の人々は血眼になつて西に東に狂ひ廻つてゐるが、さすがに溫泉場となれば歲暮も何もなく、さこか暢りした氣分につゝまれて、折々隣室からパチリ〳〵と石音かするのは、この師走を餘所に長閑な鳥鷺の戰ひに餘念ないのだらう。そして、電燈の光を投げた廊下はもう夜の色につゝまれ、[illegible]の間から[illegible]解らぬが、こゝ大海へ[illegible]想像するに、可成の數寄が凝してあるらしい。[illegible]海岸に近い[illegible]でありながら、じつと耳を澄ませても波音の聽えぬのが、何となく不足に思はれ、山の溫泉へでも行つたらし[illegible]ませう。』

『はあ、それが何よりでごわす。』と、ベルを鳴らして女中を呼寄せ『お客樣を浴室へ御案內申してくれ。』

『は、ごうぞ此方へ。』

窈窕な美眼を麗締めたかな縕袍に著替た昇一郎は、女中の案內で一步廊の外へ踏出したが、何と思つたか急に立戾つて、

『高松さん……』と呼びかける。

『何ぞお忘れ物でも。』

『いや、最前から志保子さんがお見えなさらんやうだが、[illegible]かお出掛けですか。』

『いや、別に。』と妙に狼狽した樣ら『唯今まで次の間に居りましたが、幾歲になつても結婚者は羞恥心が先に立ち、大方庭へでも逃出したものと見えます』

あッはゝ、

『すると、近頃は大分病氣も薄らいだと見えますな。』

『左樣、この兩三日は特に氣分がお宜しいやうで……今日は貴方がお見舞下さるとも知れ、特にその元氣づきまして、手前も又いかに心强く感じられた。

『東京から汽船でお出でになれば、うと〳〵と居眠りしてゐる間に著きますが、大仁驛から山越されたではなか〳〵の難澁、さぞお疲勞なすつた事でごわせう。』と、朔平は下へも置かぬ歡待振り、女中達の手も借ず、自身でお茶の仕度までしながら『ねゝ、と、無論その御晩餐前でごわせうし、手前も又何よりの樂みとお待受け致して居つたですから、早速一つ差上げる事に……然し、その前に一風呂お入湯なされては如何で。』

『さうですな。』と、昇一郎は即座に答へた『何うせ一週間かや十日は滯在の豫定であるから、今夜が今夜、慌て、何彼の御相談をいたすべき必要もなし、まづ精神を落著け、久し振で湯治氣分に浸つて來[illegible]いたしたか、子を持つ親の心を御推察願ひたいものです。』

ごこを押したら、よくもぬけ〳〵とそんな優しい言が出たものか。いづれにしろ、未だ昨今の交際で、委しく高松朔平の人格を究めぬ昇一郎は、いかにも滿足らしく微笑しつゝ、浴場をさして歩みを運び去つた。と、庭に面した廊下の端に微かな足音……志保子が眞蒼な顏を現はした。

新刊紹介（到着順）

▲天道教會月報（一〇一） 教門訓義教理、講演、論說、學術、文藝、宗教の諸欄に別ちたる鮮文雜誌である（三十錢、京城松峴洞三四天道敎中央總部）

▲自國の義（町田梓樓譯） 此の書は白耳義の陸軍將校ヒュッフェン男の著書を邦譯したもので原著は歐洲評論界にて歡迎されたもので[illegible]賞を贈つたのであつた。邦譯は篇頭に各國大公使、我國の山縣元帥、東鄕元帥、大隈侯及び大臣其他文武官諸名士の題辭や序文、讃辭等が多數に揭げられてある、此の譯文は大阪朝日の町田梓樓氏が趣味ある筆で譯出したもので殊に此書の收益は白耳義國民の慰藉に寄せて提供するものであるから有志のまは宜しく一本を購つて、自國民が在らゆる辛苦を忍んで抵抗奮鬪したる世界史上の條蹟を追想せられんことを切に勸める（四六判五十頁、[illegible]未出版社）

▲我が國へ [illegible]

仁川米豆取引所　十三日の三月限　[illegible]

○西伯利救助 目賀田男談

行は單に技術的の人にして斯る事……るは勿論なり更に委員會の事……り醫院あることも鑑み藥劑及醫療材料……同地より日本に對し援助を求め來りしを以て之が經營に當はんが爲……復興に助力し度く目下著々準備中なり（東京）

○十錢の外套

……云ふ叫で如何にも男子の方が……子に比し寒さを強く感ずると云ふ……狀であつて何か他に理由があるならば何を苦しんでか、……云ふのは十錢を投じて徽章を見て何故汝等は風を引かぬやと問ひたるに彼は即座に答へて……用ひざるも上級の學生はこれを用ゐる……身を固むるが如き

△無外套會員の目標

謹賀新年

ナ

壹等賞

御禮

謹啓弊店儀開店以來微力ながらも誠心誠意を以て華客本位に勉勵致候處幸ひに華客諸賢の御厚庇を蒙り業務歳々隆昌を加へ當取引所に於ける賣買常に群を拔き今年は實に扱石數千五百萬石の最高多額の好成績を收め取引所より**壹等賞**の**表彰**を相受け候は偏に御華客樣の厚き御同情の賜と深く感銘罷在候今後共不相變御引立下され度右御禮旁々御挨拶迄如此御座候

仁川海岸通三丁目

仁川米豆取引所仲買人

ナ 仲買店

電話 長九〇五 四四番 八三三

電略（カクヌハナ）